

美しい時代へ——東急グループ



 **東京都市大学**  
TOKYO CITY UNIVERSITY

ANNUAL REPORT

— 事業報告書 —

2012

学校法人五島育英会

\*学校法人五島育英会の初代理事長 五島慶太先生

「都市」で学ぶ。「人」を育てる。「未来」を築く。

— 都市大グループ



# 東京都市大学

## TOKYO CITY UNIVERSITY

世田谷キャンパス (工学部/知識工学部)

横浜キャンパス (環境学部/メディア情報学部)

等々力キャンパス (都市生活学部/人間科学部)

東京都市大学 附属中学校・高等学校

東京都市大学 等々力中学校・高等学校

東京都市大学 塩尻高等学校

東京都市大学 附属小学校

東京都市大学 二子幼稚園

東急自動車学校

### 発行にあたって

学校法人五島育英会は、1955（昭和30）年に、東急グループの創設者である五島慶太を初代理事長として設立した学校法人であり、現在では大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、自動車学校の全9校を設置しております。2009（平成21）年4月、大学から幼稚園までを「東京都市大学」の名のもとに校名を統一し、「都市大グループ」として新たなスタートを切りました。グループ全体の教育理念・教育目標など共通する価値観をより明確にして、健全な精神と豊かな教養を身に付けた未来志向の人材育成に取り組んでおります。

当法人では、すべてのステークホルダーの皆様に向けて、様々な取り組みや各学校の現況などをお伝えすることが責務であると考え、「事業報告書」を発行しております。本報告書をご一読いただき、学校法人五島育英会と設置するすべての学校について理解と信頼を深めていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 目次

- 03 発行にあたって、目次
- 04 東京都市大学グループの理念と目標、初代理事長五島慶太先生
- 05 理事長メッセージ
- 06 ハイライト  
教育・研究、スポーツ・課外活動、グループ連携、環境、グローバル、地域連携・地域貢献
- 12 設置校の概要  
東京都市大学、東京都市大学附属中学校・高等学校  
東京都市大学等々力中学校・高等学校、東京都市大学塩尻高等学校  
東京都市大学附属小学校、東京都市大学二子幼稚園、教育関連施設
- 20 教育関連データ  
在学生生徒数、志願者数、教職員数、就職関連データほか
- 24 財務 2012年度決算について
- 26 財務概要  
キャッシュフロー計算書(C/F)、消費収支計算書(P/L)、貸借対照表(B/S)、5年間の財務データ(推移)、財産目録
- 30 2013年度の事業計画、各種奨学制度
- 32 学校法人五島育英会の概要  
五島育英会のあゆみ、事業活動、組織図、役員・評議員一覧、東急グループについて、東京都市大学と東急グループの連携

### 2012年度事業報告書 学校法人五島育英会

発行日：2013年7月  
 発行者：学校法人五島育英会  
 〒150-0043  
 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番7号 五島育英会ビル8F  
<http://www.goto-ikuei.ac.jp>

本報告書の対象範囲：  
 学校法人五島育英会の大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、自動車学校

本報告書の対象期間：  
 2012年4月1日～2013年3月31日  
 （一部、上記期間以前または以後の状況についても記載しています）

無断転載を禁止します。  
 All Rights Reserved.  
 Printed in Japan © Gotoh Educational Corporation 2013

お問い合わせは  
 学校法人五島育英会  
 〒150-0043  
 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番7号 五島育英会ビル8F  
 TEL 03-3464-6911（代表） FAX 03-3464-6650

### 東京都市大学グループのスマートフォンアプリが完成、無料配信中

東京都市大学グループでは、皆様とのインターネット上でのコミュニケーションを促進するために、各種公式ソーシャルメディア（Facebook、Twitter、YouTube）を開発してきました。そして、新たな展開としてスマートフォン用アプリケーション（iPhone版およびAndroid版）「東京都市大学」が完成。現在、App StoreおよびGoogle Playを通じて、無料配布中です。

このアプリでは、グループ概要や学園歌、大学から幼稚園までの各学校の基本情報や写真、新着ニュースなどを紹介するとともに、ホームページやソーシャルメディアへのアクセスを容易にしました。

この機会にぜひダウンロードしてください。

ダウンロード方法：iPhone版はApp Storeから、Android版はGoogle Playから、無料でダウンロードできます。  
 「東京都市大学」と検索し、「東京都市大学」のアイコンが表示されたら、アイコンをタップしてください。インストールが開始されます。



写真はハメコミ合成です。

### 充実する都市大グループのソーシャルメディア

都市大グループ公式Facebook  
 「いいね」でGOODコミュニケーション!  
<https://www.facebook.com/TCUgroup>

都市大グループ公式Twitter  
 「つぶやき」をフォローしよう!  
<https://twitter.com/toshidaigroup>

動画で情報配信中  
 都市大グループ公式YouTube  
<http://www.youtube.com/user/gotoikuei>

ブログで日々の出来事を伝えます!  
 都市大グループ公式Blog  
<http://www.goto-ikuei.ac.jp/blog/>

# 東京都市大学グループの理念と目標

学校法人五島育英会は、豊かな人間性、国際化社会に適応できる人材の育成を目指し、良質の教育と幼稚園から大学までの一貫教育を行い、特色ある私学の創造に努めてまいりました。そこでは、優れた教育・研究者を擁し、積極的な施設設備の拡充により教育環境を整え、教育内容を充実し、教育の成果はもとより、進学・就職においても、着実な成果を上げてまいりました。

2009（平成21）年4月1日、武蔵工業大

学は既存の工学部、知識工学部、環境情報学部、新たに都市生活学部と人間科学部の文系2学部を加えて、5学部16学科を擁する「東京都市大学」として、新たなスタートを切りました。これに併せて、付属の高校3校、中学校2校、小学校1校、幼稚園1園も同時に大学名を冠として名称を変更、「東京都市大学グループ」を形成し、より緊密な連携を図ることとなりました。

東京都市大学グループの使命は、単に

知識や技術の修得だけでなく、優れた感性と品性を備え、世界から待望される有為な人材を育て上げていくことです。

東京都市大学グループは、それぞれの学校がこれまで培ってきた歴史と伝統を生かしながら、それらを融合することによって得られる学園全体の総合力を最大限に発揮できるよう、東京都市大学グループの理念と目標を策定いたしました。通底するのは、未来に向かって着実に進化し、つねにチャレンジする精神です。

## 1

### 教育理念

健全な精神と豊かな教養を培い  
未来を見つめた人材を育成します

## 2

### 教育目標

国際的な視野と  
情報活用能力を身につけ  
健全な精神と豊かな教養をもって、  
国際社会で活躍する  
有為な人材を育成します

## 3

### グループ ヴィジョン

都市大グループは、  
未知の世界を切り開き、  
未来に向かって挑戦します

## 初代理事長五島慶太先生 一生誕130年を迎えて

学校法人五島育英会の初代理事長である五島慶太先生は、1882（明治15）年4月18日長野県小県郡に農家の二男として生まれました。東京帝国大学卒業後、官僚として日本の鉄道の発展に力を注ぎます。

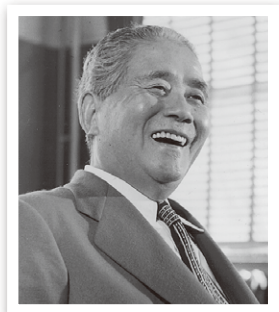
その後、実業家の道を進み、目黒蒲田電鉄（東京急行電鉄の前身）を創業。以来長期にわたり東急グループの経営に携わりました。卓越した先見性により、交通を基盤とした「街づくり」を中心に様々な事業を展開する東急グループの礎を築きました。

一方で、国の繁栄と産業発展のためには、人材の育成が何より重要と、教育事業の推進に意欲を燃やします。東京都市大学の前身である武蔵高等工科学校を創立

し、武蔵工業大学に発展させた西村有作氏の懇願により、学校経営を引き受け、当時、学校運営に携わっていた東横学園と統合することによって1955（昭和30）年に学校法人五島育英会が設立しました。

その五島先生の悲願が、大学を頂点とする総合学園化です。都市大グループが誕生してから4年目となる2012年は、五島先生の生誕130年にあたります。同年4月、グループを代表して理事長、総長をはじめ各学校長などの関係者は、五島先生が眠る九品仏浄真寺（東京都世田谷区）を墓参、さらなる発展を誓いました。

五島先生の遺志を受け継いで、これからも都市大グループは、休むことなく、進化、成長し続けます。



五島慶太 初代理事長



五島慶太先生が眠る九品仏浄真寺

## 本格的な改革第2期、激変する時代と社会を見据え 更に進化する東京都市大学グループ



学校法人五島育英会 理事長  
**安達 功**

東京都市大学グループの発足から4年目を迎え、さらなる発展に取り組んだ2012年度

2012年度事業報告書の発行にあたり、学校法人五島育英会を代表してご挨拶申し上げます。

2012年度は、東京都市大学グループの発足から4年目を迎え、一連の大きな改革に対する真価が問われる年となりました。

昨年のメッセージにおいて、私は、教育における「グローバル化」と、学生の要望に立脚した「CS (Customer Satisfaction)」の展開、そして都市大グループ各学校間の「連携強化」という3点を、重点的に取り組むべき課題として掲げました。また、文部科学省では2012年6月、大学教育の質的転換と大学入試改革、私立大の質保証の徹底に向けた厳格化など、大学改革の方向性を盛り込んだ『大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～』を公表しました。

このような様々な課題の下、都市大では更なる改革に着手、学部・学科によらず、教養教育・基礎教育を共通化し、より高いベラールーツ教育を実践するため「共通教育部」を設立、学部間の有機的な連携と教育システムの効率化を図りました。また、2013年度より、環境情報学部を「環境学部」および「メディア情報学部」の2学部体制に発展的に改組するとともに、工学部生体医工学科、知識工学部情報ネットワーク工学科の学科名を、それぞれ「医用工学科」、「情報通信工学科」へ改称、加えて大学院環境情報学研究科に新たに都市生活学専攻を設置するための体制整備に取り組みました。さらに、教員と職員とのより一層の協力の下、多様化する学生への積極的な対応を目指す「FD<sup>\*1</sup>・SD<sup>\*2</sup>ワークショップ」をスタートしました。また、きわめて大切な就職支援において、より一層手厚く、きめ細やかなものへと充実させ、特にインターンシップについては、海外インターンシップ(4カ国)や、海外企業の国内研修への参加などを実施し、グローバル人材の育成に注力するとともに、東急グループ各社の協力によるインターンシップも積極的に推進いたしました。これらの相乗効果もあり、完成年度を迎えて注目されていた都市生活学部と人間科学部の第一期生の就職内定率は、それぞれ97.9%と100%と、きわめて良好な結果となりました。大学全体も全国平均を上回る96.7%と、「就職力の強さ」を發揮しました。

附属の学校では、附属中学校・高等学校が2012年度をもって完全中高一貫教育体制を完成。同校および等々力中学校・高等学校は、前年度に続き、都内私立中学校入試においてトップクラスの志願者を集めました。また、大学合格実績においても、目覚ましい成果をあげました。文武両道を掲げる塩尻高等学校では、ここ数年来の学力向上システムの活用が功を奏し、大学合格実績を伸ばすとともに、女子バレーボール部が全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)に連続出場し、創部4年目にして全国ベスト16の快挙を成し遂げるなど、課外活動における不断の健闘が「都市大」の名を

広く知らしめることにもつながりました。

学校間連携では、全ての付属高等学校から都市大への「付属進学制度」が整備されました。また、都市大での講義を受講できる「単位認定制度」では、塩尻高等学校がテレビ会議システムを利用した同時双方向対話型の遠隔授業を開始しました。このほか、等々力高等学校の教員と生徒が二子幼稚園の園児を対象に「科学体験教室」を実施するなど、様々な学校間連携が積極的に行われました。

### 時代と社会の要請に応えながら着実に進化し続ける 東京都市大学グループ

わが国は世界がこれまで経験したことのない未曾有の少子高齢化に突入しております。このような中で50%近い私立大学が定員割れに陥る事態となっておりますが、都市大グループにおいては、全体の総志願者数が2012年度は、対前年比12.9%増と堅調に推移いたしました。これは、都市大グループに対し一定の評価をいただいたものと考えております。

2013年度からは、これまでの改革で得られた確固にして新たな基盤の上に、未来を見据えた教育内容と教育環境のさらなる整備・充実を目指してまいります。

都市大は、6年後に創立90周年を迎えますが、より一層グローバル化する社会において揺るぎない存在感を示すべく中長期の具体的な戦略と行動計画を策定していく所存です。塩尻高等学校では、新たな教育理念、教育目標、教育システムの下に2014年度に予定されている学科再編等に伴う教育改革、多様化する教育環境に対応した新校舎の建築や施設設備の導入などを順次進め、より魅力ある学校創りを目指します。

学校間連携事業においては、大学から幼稚園までのすべての学校間で、「都市大グループならではの」スケールメリットを生かした連携強化に、より一層取り組んでまいります。

世界では、情報や技術の革命によって、国境を越えた経済活動が急速に進んでいます。特にアジア地域のGDPは2013年に世界全体の30%、これが2050年にはその8倍となって、52%を占めると予測されています。グローバル化や少子高齢化・人口減少など、社会が大きくなうねりの中にある今ほど、教育の力が問われます。着実に、社会の要請に応えながら、良質な教育を実践することが私たちの使命と捉え、都市大グループは、これからも現状に満足することなく、重点的な課題に取り組みながら、成長、発展、進化を続けてまいります。

本事業報告書を通して、当法人が設置する各学校の現状と展望にご理解いただきますとともに、倍旧のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

\*1 FD (Faculty Development) : 大学教員 (Faculty) を対象とした、教育内容や方法などの改善・向上を目的とする取り組みのこと。

\*2 SD (Staff Development) : 大学職員 (Staff) を対象とした、管理運営から教育・研究支援までを含む組織的活動に関する改善・向上を目的とする取り組みのこと。

幼稚園から大学までを擁する東京都市大学グループは、魅力的な教育カリキュラムを実現し、未来に向けた様々な取り組みを行っています。各校の新たな教育制度や社会貢献につながる活動、児童、生徒、学生たちの活躍を紹介します。

教育・研究

## 東京都市大学

### 創立90周年を見据え「中長期ビジョン」でさらなる教育改革を推進

東京都市大学では、教育・研究の質を高めることを目的に、2013年4月に学部学科の再編を行い、環境情報学部を環境学部（環境創生学科、環境マネジメント学科）およびメディア情報学部（社会メディア学科、情報システム学科）の2学部4学科体制に改組するとともに、工学部生体医工学科、知識工学部情報ネットワーク工学科の学科名称をそれぞれ医工用学科、情報通信工学科に変更しました。

なお、6年後に創立90周年を迎える東京都市大学では、急速に進展するグローバル化社会において、先進的な総合大学として社会的評価を高めるべく、中長期ビジョンを明確にし、ビジョン達成に向けた戦略・行動計画を策定してまいります。



横浜キャンパスは、日本の教育機関で初めてISO14001を認証取得したエコ・キャンパス。学生が主体となり、環境を維持・改善するための取り組みが続けられています

## 東京都市大学塩尻高等学校

### コース制導入や新校舎計画など大改革がスタート

東京都市大学塩尻高等学校は2014年度から、新たに学科を改編し、普通科のみの4つのコース制（国公立難関私大コース、総合進学コース、サイエンステクノロジーコース、スポーツコース）を充実させてまいります。生徒一人ひとりの個性を伸ばし、実力を引き出す独自の学習システムを導入。2013年度から一部スタートし、生徒の多様な進路の実現をサポートします。

施設面では、新校舎・新体育館の建設および既存施設の改修を計画。1フロアに及ぶ学習支援センターや理科実験施設の充実、2階建ての新体育館など、多様化した教育環境に対応した新たな「都市大塩尻」が誕生する予定です。2013年秋には着工し、2014年度中の竣工を目指します。



新校舎予定図。2014年度中の竣工に向け、多様化する教育環境に対応した新校舎・新体育館の建設、既存施設の改修を行います

## 東京都市大学附属小学校

### 「ミクニレッスン」で、楽しく、おいしく、食育を実践

2011年度から東京都市大学附属小学校で始まった「ミクニレッスン」は、フランス料理家・三國清三シェフによる食育プログラムです。授業は4年生対象で、「甘い」「酸っぱい」「しょっぱい」「苦い」「うま味」という五味を学ぶところから始まり、昆布と鰹節でダシをとって味比べをします。その後の授業では、生徒自身が野菜を育て、調理して食べるなど、1年間かけて食の伝統からマナー、栄養、食材、調理まで幅広く学びます。

ミクニレッスンはテレビや雑誌、新聞などで取り上げられ、附属小学校の認知度向上にも貢献。保護者への満足度アンケートでもほぼ100%が「満足している」と回答するなど、家庭での食事環境にも影響しているようです。2013年度からは、5年生のフォローアップ授業も行う予定です。



三國清三氏のお話にて生徒たちは集中して聞き入っています。「ミクニレッスン」は保護者にも大変好評です

## 東京都市大学

### 学生とセーラー万年筆が開発した「就活ボールペン」が発売

2012年9月6日、東京都市大学の学生とセーラー万年筆株式会社の共同開発による「就活ボールペン」が発売されました。知識工学部経営システム工学科の「製品企画」で生まれたアイデアをもとに、学生とメーカー担当者が消費者ニーズを把握・分析し、検討を重ねて製品化に至ったものです。

「就活ボールペン」は、1.0mm、0.7mm、0.5mmと太さの違う3本の黒インク芯3本を内蔵。履歴書やエントリーシートの記入、封筒の宛名書き、メモ、スケジュール帳記入などの用途別に使い分けられます。黒インクのみ「3WAY」と、赤芯を加えた「4WAY」の2種類を発売。発表当初より各種マスコミで報道され、人気を博しています。



学生ならではのアイデアが詰まった就活ボールペン。企業説明会、エントリーシートでよく使われているそうです

## 東京都市大学

### 庄内柿をテーマとした共同開発商品で高島屋のフェアに出展

東京都市大学都市生活学部の地域資源商品研究会が進めている庄内柿プロジェクトは、2012年5月30日～6月5日の7日間、新宿高島屋で開催された34大学が参加する「第5回『大学は美味しい!』フェア」に出展。都市生活学部の女子学生らと山形県・酒田観光物産協会が共同開発した、庄内柿をテーマに加工商品化されたスイーツなどを販売しました。

庄内柿プロジェクトは、庄内柿の知名度と販路拡大を目指して、2009年に発足し、これまでに「夢の倶楽プロジェクト逸品・庄内柿ぶらす」として17品目が商品化されています。今回のフェアでは、企画段階から携わった学生と新入生らメンバー約10名が販売を行い、庄内柿の特徴を入場者にアピールしました。



東京都市大学の女子学生が中心となって、首都圏の若い女性の購買意欲やニーズを反映した商品を開発しました

## 東京都市大学

### ゲルマニウム量子ドットによる発光デバイスの開発に成功

総合研究所シリコンナノ科学研究センターでは、シリコンをベースとした室温発振レーザーを可能とする極めて高効率に発光する電流注入型の発光デバイスの開発に成功しました。この発光デバイスは、人工原子と呼ばれるゲルマニウム量子ドットと、新たに開発したフォトニック結晶微小共振器構造からなり、従来に比べて、発光効率の向上と発光スペクトルの先鋭化を実現。電気信号でのみ情報処理していた半導体集積回路において、光信号処理を可能にする革新的な技術であり、高速・大容量な信号伝達や、消費電力の少ない環境に優しいコンピュータ開発などへの応用が期待されます。

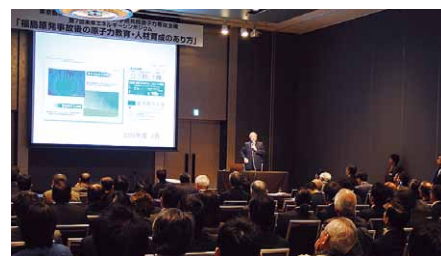


渋谷サテライトクラス（五島育英会ビル）にて開催された記者発表会の様子

## 東京都市大学

### 未来エネルギーシンポジウムで原子力教育の必要性を確認

2012年11月26日、ザ・キャピトルホテル東急において、東京都市大学・早稲田大学共同原子力専攻主催による「第7回未来エネルギーシンポジウム『福島原発事故後の原子力教育・人材育成のあり方』」を開催しました。民主党衆議院議員の大島章宏氏によるビデオメッセージのほか、アメリカ大使館環境・科学担当書記官、日本原子力研究開発機構原子力人材育成センター長、原燃輸送株式会社代表取締役社長、早稲田大学教授、桜美林中学・高等学校の教諭らが講演を行い、原子力の安全を担う人材育成の重要性を再確認。その後は、講演者に3人の学生を加えた9人によるパネルディスカッションが実施され、活発な議論が展開されました。



シンポジウムでは、長期にわたる原子力の安全確保に向けた人材育成の試みについて熱心な議論が交わされました

## 東京都市大学塩尻高等学校 女子バレー部が春高バレーで全国ベスト16の快挙

東京都市大学塩尻高等学校の女子バレーボール部は、2013年1月5日に開幕した「第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）」に長野代表として出場し、ベスト16入りを果たしました。創部4年目ながらにして2年連続2度目の春高バレー出場を果たし、全国ベスト16という結果は快挙です。

同校バレー部主将の松尾奈津子さん（当時3年）は、開会式での選手宣誓という大役も果たしました。1、2回戦はストレートで勝利、3回戦で惜しくも破れましたが、チーム一丸となった全力プレーで試合に臨みました。

都市大塩尻高校女子バレーボール部は、同年4月に行われた「第18回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会」で優勝し、全国大会2連覇を達成しています。



創部4年目にして春高バレー全国ベスト16という快挙を成し遂げた選手たち。試合ではコンビバレーなどの多彩な攻撃も見られました

## 東京都市大学 6年ぶりの「鳥人間コンテスト」出場で100mを超えるフライト

東京都市大学の航空研究部（チーム名「APSARAS」）が、2012年7月28日、29日に滋賀県彦根市の琵琶湖東岸で開催された「第35回鳥人間コンテスト選手権大会」に出場しました。今回の出場は6年ぶり7回目、難関である書類審査を見事突破し、「人力プロペラ機ディスタンス部門」でのチャレンジ権を獲得。

機械工学科4年（当時）の吉田幸恵さん設計の機体は、製作期間がわずか3カ月。大会間際のテストフライトで主翼破損というアクシデントに見舞われましたが、チームが一丸となって徹夜で修理し、また、教職員や卒業生のサポートもあり、開催当日までに機体を仕上げました。大会当日の朝8時6分、「NEXT」と名付けられたその機体は無事に離陸。同部史上最長となる110.67mの飛行距離を打ち立てました。



離陸直前までチェックに余念がない航空研究部のメンバー。教職員や卒業生のサポートも大きな力になりました

## 東京都市大学等々力中学校・高等学校 舞チア部が全国大会「USA Nationals」で2連覇を達成

2013年3月26日、幕張メッセで行われた「全日本チアリーディング&ダンス選手権USA Nationals in Japan 2013 スクールアンドカレッジナショナルズ」の「Show Cheer部門 高校編成 Advance」で、東京都市大学等々力中学校・高等学校の舞チア部「The Sparklers」が優勝し、2年連続の栄冠を獲得しました。

USA Nationalsは、米国カリフォルニア州に本部を置くユナイテッド・スピリット・アソシエーションが主催する全国大会の一つで、中学校・高校・大学の学校団体を対象とした「スクールアンドカレッジナショナルズ」には全110チームが出場しています。

「元気！勇気！笑顔！」をモットーに活動を続けている舞チア部は、3連覇達成を目指して、さらなる練習に励んでいます。



2連覇を達成して、最高の笑顔を見せる面々。これからも「元気！勇気！笑顔！」をモットーに活動していきます

## 東京都市大学グループ グループ力で多くの人に“学びの楽しさ”を伝える

幼稚園から大学までのすべての学校間で、東京都市大学グループのスケールメリットを生かした連携強化を図っています。2012年度入試から導入した東京都市大学への「付属進学制度」をはじめ、新たな取り組みも始まっています。

東京都市大学二子幼稚園と東京都市大学人間科学部では、幼大連携として、2012年12月に東京・等々力の農園でダイコン掘りを実施しました。ダイコン掘り体験は園児にとっての体験学習となるだけでなく、大学生にとっても実際に園児と触れ合うことのできる実地学習になり、双方にとって学ぶものの多い機会となりました。

2013年3月には、東京都市大学等々力中学校・高等学校の教員と理科部の生徒が講師となる「科学教室」を二子幼稚園で開催。年長組を対象に「割れないシャボン玉を作ろう」「歯の勉強」「紙コップの上に立つ！」「シヨウノウ船を動かそう」という4つのテーマで実験や学習を行いました。

東京都市大学塩尻高等学校では、2012年10月から11月の計3回にわたり、東京都市大学の教授陣を招いて「市民公開講座」を開講しました。講座を担当したのは、製品やサービスに対する環境影響評価の手法を探求する伊坪徳宏教授、テレビのコメンテーターとしても知られる環境問題のスペシャリスト涌井史郎教授、集客力のある魅力的なまちづくりの大家小松史郎元教授。環境問題や集客に興味のある多数の塩尻市および近隣住民の方々が集まり、盛況のうちに閉幕しました。



ダイコンが抜けずに四苦八苦する園児たちを、東京都市大学の学生がやさしくサポートする姿が見られました



シヨウノウ船を水の上に乗せようとする園児。講師役の先生が分かりやすく説明し、楽しく科学を学ぶことができました



造園の専門家としてメディアでも活躍する涌井史郎教授の公開講座。巧みな話術で参加者から笑いが起こる場面も度々ありました

## 環境

## 東京都市大学／東京都市大学等々力中学校・高等学校 カーボン・オフセット認証取得や植樹などのCO2 オフセット活動

東京都市大学環境情報学部の在校生・卒業生によるLCT・LCAを用いた環境教育促進団体「elsa」と、東京都市大学等々力中学校・高等学校が協働で行っている「環境」の授業に伴って排出されるCO2（温室効果ガス）をオフセットする提案が、環境省の「オフセット・クレジット（J-VET）制度を活用した復興支援に係る事業者支援（カーボン・オフセット及びカーボン・ニュートラル認証取得支援第2次募集）」に採択されました。教育機関での採択は日本で初めてです。

対象となるのは、等々力中学校で実施されている「環境」の授業全13回で、対象授業日の電力などの校舎利用に伴って排出される二酸化炭素をオフセットします。オフセットには、東日本大震災の被災地域から創出されたJ-VETクレジットおよび海外のCERクレジットを活用します。カーボン・オフセット認証を取得したこの取り組みは、カーボン・オフセット対象の「奨励賞」にも選ばれています。

また、東京都市大学横浜キャンパスの学園祭（横浜祭）でも、環境活動の一環として、2008年からカーボン・オフセット活動に取り組んでいます。横浜祭で発生する二酸化炭素排出量に相当する金額をオフセットするための募金活動を行い、北海道美幌町でカラマツ植樹を実施しています。



中学1年生では基本的な環境問題について、中学2年生では携帯電話など身近なものを題材にライフサイクル思考について学んでいきます



2012年11月4日、北海道美幌町でカラマツの苗木約280本を植樹する学生たち。この取り組みは5回目を迎えています



## 東京都市大学 国際交流やインターンシップ、研修を通じてグローバル人材を育成

産業界をはじめとした様々な分野でグローバル化が進むなか、東京都市大学グループでもそれに対応する数々の取り組みが推進されています。

東京都市大学では、現在10カ国・地域14校の大学と協定締結しており、相互交流を活発に行っています。2012年6月には協定校であるオーストラリア・カーティン大学の人間科学部建築環境学科都市・地域計画コースの学生35人が横浜キャンパスを訪問。本学学生が案内・サポート役となり、当日開催されていた横浜祭を見学しました。

2012年8月には、学生や教員がタイ・バンコクにあるタマサート大学を訪問し、シリントン国際工学部にて総合研究所セミナーを開催。セミナーでは東京都市大学および総合研究所の研究内容を紹介しました。

グローバルに活躍する人材を育成することを目的とした取り組みも活発です。2012年度は11人（4カ国9人、国内研修2人）が海外インターンシップに参加。2012年11月28日に行われた海外インターンシップ成果発表会では、海外インターンシップに参加した学生の発表が行われました。

学習・研究に直結した実践的プログラムとして行われる「フィールドワーク研修」では、知識工学部自然科学科の「スコットランド地質見学」、環境情報学部「日中共同砂漠緑化フィールド研修プログラム」など様々な取り組みが2012年度も実施されています。

東京都市大学で学ぶ外国人留学生に対しては、キャリアサポートの一環として、2012年11月17日に「留学生就職支援プログラム」を開催。留学生全員を対象に、留学の目的の再確認や卒業後の進路に関する最新情報の把握などを目的として、講演・セミナーが行われました。

また、東京都市大学等々力中学校・高等学校の海外語学研修など、大学以外のグループ校でもグローバル人材育成のための活動がますます充実してきています。



2012年6月3日、東京都市大学横浜キャンパスをオーストラリア・カーティン大学の学生35人が訪問しました。横浜祭を見学した後、懇親会で親睦を深めました



2012年8月21日、22日に、タイのバンコクにあるタマサート大学のシリントン国際工学部で、総合研究所セミナーを開催。東京都市大学の海外学術交流について考えるうえでも有意義な場となりました



中国内蒙古自治区ホルチン沙地で、北京林業大学と共同して日中共同砂漠緑化フィールド研修にとりくんでいます。フィールドワークを通じて、乾燥・半乾燥地区の環境問題や生態システムなどについて学びます



2012年度の海外インターンシップ参加者は、4カ国9名に加え海外企業の国内研修2名の合計11名にのぼり、全国でもトップクラスの実績となりました

## 東京都市大学 中村英夫学長が春の叙勲にて「瑞宝中綬章」を受章

2012年春の叙勲にて、東京都市大学の中村英夫学長が「瑞宝中綬章」を受章されました。中村学長は社会基盤整備のための計測・調査、分析、計画に関する研究にて、我が国初の土地利用・交通モデルの開発など数々の先駆的な研究業績を挙げています。長年にわたる功労が認められ今回の受章となりました。



2012年7月3日セルリアンタワー東急ホテルで、約150名の出席者が中村学長の叙勲をお祝いました

## 東京都市大学 建築学科の学生たちがハッピーロード尾山台を光で彩る

東京都市大学は、世田谷キャンパス近隣の尾山台商栄会商店街振興組合（愛称「ハッピーロード尾山台」）を電飾で飾り、街の活性化を図るイベント「温個灯新2012」を、2012年6月5日から6日間開催しました。工学部建築学科の小林茂雄教授の指導のもと、建築学科の学生137人の学生と、企画に賛同した44店舗が協力して行灯や光のディスプレイを製作。学生と店主が打ち合わせを重ねることで交流を深めることにもつながりました。

期間中には、尾山台地区会館で近隣小学生を対象としたワークショップも開催。「温個灯新」には“街の個性を温めて新しい光を灯す”ことで街を再発見してほしいという願いが込められています。



店舗の特徴や店主の人柄を表現した電飾を飾ることで、これまで以上に愛着が持たれる店舗として地域住民に再認識を促し、商店街の活性化を目的としています

## 東京都市大学／東京都市大学附属中学校・高等学校／東急自動車学校 附属中・高校も出場した「エコ1」などイベント・講演会が充実

中学生・高校生を対象に1998年から行ってきた「バッテリーカーコンテスト」は、2012年から「都市大エコ1チャレンジカップ～中・高校生による手作りバッテリーカーコンテスト～」と改称し、東急自動車学校で開催されることになりました。第1回開催は2012年8月25日、1都7県から集まった15台が出場しました。東京都市大学附属中学校・高等学校自動車部も小型でシンプルな車体（車名「KAISEI」）で出場し、7位にて見事完走を果たしました。殊勲賞も受賞しています。

東京都市大学は8月8日に、小学生・中学生のための「科学体験教室」を開催。学生や教職員が運営に携わり、「電気で動く車の仕組みを知ろう」「水ロケットを作って飛ばそう」など47のテーマを設け、参加者が自由に体験できるようにしました。

現代社会における諸問題をテーマとする「渋谷コロキウム」

は9年目。2012年度には「世界に貢献する日本の水ビジネス」「ヒカリエ以後のSHIBUYA 新時代」などのほか、環境学部とメディア情報学部が開設したことを記念して、「環境とエネルギーの世紀を考える」「メディアとコミュニケーションの未来を創る」というコロキウムが開催されました。

等々力キャンパスにある子育て支援センター「びっぴ」も、乳幼児とその保護者が安心して過ごせる遊び場として多くの親子に利用されています。



年々人気が高まる科学体験教室。子供たちに科学のおもしろさや大切さを体験してもらいイベントとして、毎年夏休みに開催されています。



エコ1チャレンジカップで、東京都市大学附属中学校・高等学校の自動車部は7位と大健闘しました



第35回渋谷コロキウムではメディア情報学部開設を記念した公開講演を実施。会場は満席で、大変な盛会でした



東急自動車学校のコースを使ったことで、レースを一貫して観戦できると観客に好評。大盛り上げの大会となりました



2004年に開設された子育て支援センター「びっぴ」は、専門の保育士が常駐。東京都市大学人間科学部児童学科の学生の実習の場としても活用されています

## 持続可能な社会の発展に貢献する専門力のある人材を輩出



中村 英夫 学長

東京都市大学は2013年4月に学部学科改組を行い、6学部18学科となりました。この新しい体制のもと、高度な専門性を持った人材の育成に努め、持続可能な社会の発展に貢献することが本学に与えられたミッションです。2013年度以降は、大学院改革にも着手し、時代を超えた研究レベルの向上にも取り組んでまいります。

■教職員数 767名 ■学生数 8150名(大学7503名、大学院647名)

■開設年 1929(昭和4)年

■所在地

世田谷キャンパス 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 TEL. 03-5707-0104

横浜キャンパス 〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1 TEL. 045-910-0104

等々力キャンパス 〒158-8586 東京都世田谷区等々力 8-9-18 TEL. 03-5760-0104

\*教職員数、学生数は、2013(平成25)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 環境学部、メディア情報学部が誕生

2013年4月、「環境情報学部」を「環境学部」(環境創生学科、環境マネジメント学科)と「メディア情報学部」(社会メディア学科、情報システム学科)の2学部4学科へと改組しました。

環境分野に特化した「環境学部」は、文系理系の枠を超えた多角的なアプローチで環境問題を捉えられる即戦力人材の育成を目指します。一方の「メディア情報学部」は、進歩の著しいITと社会・人間との共生に役立つスキルと意欲を持つ人材を輩出していきます。

新学部設立にあたっては、教育環境および研究環境を充実させることも重視。環境学部では、フィールドワークのための様々な計測機器を備えたフィールド演習室を備え、環境を科学的に学ぶ方法を身に付けることができます。メディア情報学部には、プログラミングやウェブデザインなどの演習授業を受けることができる、国内でも有数の最新設備を整備しました。

■ウェブサイト <http://www.tcu.ac.jp/>



### 2年連続で志願者数が増加

近年の入試傾向では、国公立大学や地元の大学に進学する割合が強くなっていると言われるなか、2012年度募集の学部入試は2年連続で志願者が増加しました。その数は定員を大幅に上回り、一般入試での志願者数は歴代2番目となる約1万8000人(前年比115%)となりました。

特に、工学部の志願者が増加著しく、環境学部とメディア情報学部は前年度の環境情報学部より増加しています。福島原発事故以降、原子力関連学部の学生減が目立っていると一部報道されていますが、本学では長年の研究成果が評価され、工学部原子力安全工学部では約10倍の志願倍率となりました。

### 都市大グループ「高大連携」を推進

2012年度入試からは、「付属進学制度」による付属の高等学校3校からの推薦入学枠を拡大。また、高校の授業の一環として、東京都市大学の講義を受講する「単位認定制度」は、これまで付属高等学校、等々力高等学校で行われてきましたが、2012年度から付属の3校すべてで実施しています。

さらにグループ全体でのスケールメリットを生かした学校間連携を強化するため、本学と3つの付属高校の教員が定期的に意見交換を行う研修会がスタート。各校の強みを出し合い、グループ全体が発展していくことを目指します。

### きめ細かな就職サポート

2012年度の就職実績は、2011年度に引き続き、96.7%(各学部平均)と全国平均93.9%(文部科学省・厚生労働省発表)を上回りました。全国的に文系学部の就職環境が厳しいと言われていましたが、2009年に新設された都市生活学部と人間科学部の第1期生はそれぞれ、97.9%、100%という結果となり「就職に強い東京都市大学」というブランドを顕示しました。

また、様々な分野で活躍する人材を輩出し続けるため、就職サポートスタッフを増強し、今まで以上にきめ細かな対応ができる環境を整備しました。2013年以降も東急グループ各社や国内外の企業などでのインターンシップや企業研究会など、多彩なキャリア支援を展開し、新入生からのキャリア教育にも力を入れています。

### 研究レベル向上のための取り組み

研究面強化のため、2013年4月から日本におけるエネルギー問題の権威として知られる柏木孝夫氏を教授として迎えました。柏木教授は、東京工業大学特命教授、先進エネルギー国際研究センター長なども務めた著名人で、政府によるエネルギー政策の策定にも深く関わっています。本学の総合研究所を日本における都市インフラ問題の研究拠点へとブラッシュアップさせたいと考えています。

### 東京都市大学の学部学科構成

工学部	機械工学科 機械システム工学科 原子力安全工学科 医用工学科 電気電子工学科 エネルギー化学科 建築学科 都市工学科	世田谷キャンパス
知識工学部	情報科学科 情報通信工学科 経営システム工学科 自然科学科	
環境学部 <sup>※1</sup>	環境創生学科 環境マネジメント学科	横浜キャンパス
メディア情報学部 <sup>※1</sup>	社会メディア学科 情報システム学科	
都市生活学部	都市生活学科	等々力キャンパス
人間科学部	児童学科	

※1 2013年4月、環境情報学部を改組し、「環境学部」と「メディア情報学部」を設置



新1号館(第1期工事)外観(世田谷キャンパス)



学生ラウンジ(等々力キャンパス)

2010年に締結した東京大学生産技術研究所(生研)との学術連携も活動の幅を広げています。堀田正生教授(知識工学部)、宿谷昌則教授(環境学部)が生研の客員教授に委嘱されました。

2013年度以降は大学院改革に着手し、将来にわたって研究レベルの向上を推進。学部生の大学院への進学率向上、他大学からの入学者の増加などを目標に、具体的な取り組みを考察してまいります。

### 海外協定校と国際化を推進

本学では本格的なグローバル時代に対応し、国際的視野の広い人材の育成を目指しています。その一環として、タイ・タマサート大学やネパール・トリブバン大学など海外の大学との協定・提携を締結するなど、各学部での海外フィールドワークも含め積極的に推進していきます。

### 先進の環境配慮型「新1号館」を建設中

世田谷キャンパスでは、教育・研究のさらなる充実を図るため、キャンパスの再整備事業を推進しています。その一環として新築工事が進む、新1号館の最終的な竣工は2013年12月。2011年12月に建物南側半分が完成し、現在、旧1号館北側半分を建築しています。延床面積約15000㎡、地下1階、地上4階建てとなるこの建物は、太陽光発電、自然通風システムなど環境に配慮した様々なシステムが導入される予定です。

### 2012年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育体制	・環境情報学部を改組し環境学部およびメディア情報学部の新設準備 ・大学院環境情報学研究所都市生活学専攻の設置準備 ・工学部生体医工学科を医用工学科に名称変更の準備 ・知識工学部情報ネットワーク工学科を情報通信工学科に名称変更の準備 ・共通教育部の開設に伴う関連規程の制定並びにカリキュラムを編成
	キャリア教育	・東急グループ各社をはじめとする国内外企業でのインターンシップ受け入れを拡充 ・54名の学生が東急グループ企業17社のインターンシップに参加。成果発表会を実施 ・海外企業4カ国でのインターンシップに11名が参加。成果発表会を実施 ・キャリア支援プログラムの一環として開催した「学内企業研究会」に約400社が参加 ・都市生活学部都市生活学科第1期生の就職実績97.9%達成 ・人間科学部児童学科第1期生の就職実績100%達成
研究活動	学生支援	・五島育英基金の奨学金を大学院生、学部生72名に給費 ・海外研修資金の貸与制度により、海外での学会・研修などで費用捻出が困難な学生を支援 ・全国20会場で「大学と保護者との連絡会」を開催(1659世帯が参加) ・東日本大震災で被災した学生に対し、学修の機会を維持できるよう学費免除などの緊急支援を実施
	実施事業	・工学部生体医工学科・平田孝道教授らの研究「プラズマによる細胞/組織の活性化・改質および再生医療への応用展開」が動物実験で効果を立証 ・「首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善」事業に参加。社会的・職業的自立力を持った人材の養成に資するため、カリキュラムを改善・充実させ、産業界と密接に結び付いた新しい人材育成プログラムを開発する計画 ・都市生活学部の庄内柿プロジェクトが、第5回「大学は美味しい!!」フェアに出展 ・文科省2009年度「大学教育・学生支援推進事業」に採択された取り組みが「S評価」を獲得 ・知識工学部経営システム工学科の学生とセーラー万年筆が「就活ボールペン」を共同開発
社会貢献	総合研究所	・高移動度至Ge基盤と高Q値Ge量子ドット発光素子を開発し、世界記録を樹立。科学技術振興機構(JST)主催「イノベーション・ジャパン2012」に出展 ・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業シンポジウムを開催 ・総研セミナーを開催
	地域交流	・「大学で楽しもう!!小学生・中学生のための科学体験教室」を開催 ・中高生対象の「バッテリーカーコンテスト」を「都市大エコ1チャレンジカップ」に改称し開催 ・工学部建築学科と尾山台商店街(ハッピーロード尾山台)が協働し、イルミネーションイベント「温個灯新」を開催 ・図書館企画展「多摩田園都市展〜ハードの遺産〜」を開催(協賛・協力:東京急行電鉄)
広報活動	フォーラム・公開講座など	・渋谷ココキウム(公開講演と対話)を開催(年4回) ・本学と早稲田大学共同原子力専攻主催による第7回未来エネルギーシンポジウム「福島原発事故後の原子力教育・人材育成のあり方」を開催 ・知識工学部経営システム工学科で「グローバル社会における経営」をテーマに卒業生を講師に招いた特別講演を開催 ・第14回市民講座「環境と情報のフロンティア」を開催(環境学部、メディア情報学部開設記念) ・公開講座「東京駅をどのように蘇生したのか」のカープロジェクトのキーマンに聞く」を開催(都市生活学部) ・学術講演会「子どもの目が輝くときー創造力は生きる力ー」を開催(人間科学部主催)
	実施事業	・様々な海外フィールドワーク研修を実施 ・東急沿線をはじめとした私鉄各社の電車内窓上スペースにポスターを掲出 ・2012年8月、オープンキャンパスを3キャンパスで同時開催
施設設備	世田谷キャンパス	・新1号館南側が竣工、北側の第2期工事を建設中(2013年12月竣工予定)
	横浜キャンパス	・3号館1階に、環境計測・分析、グループワーク、演習系授業等ができる演習室を整備 ・4号館食堂棟2階学生ホールに「ヤマザキYショップ都市大横浜店」をオープン
グループ連携		・人間科学部児童学科の学生が東京都市大学二子幼稚園にて教育実習を実施 ・東京都市大学塩尻高等学校にて本学教授陣による「市民公開講座」を開催

## 中高一貫教育を通じて「たくましく生きる力」を育む



小野 正人 校長

中高一貫校となって7年目、完成年度となった2012年度は、前年度を大きく上回る大学合格実績を挙げることができました。ここからさらに「Next Stage」を見据えて、グローバル化などを盛り込んだ新たな教育活動への取り組みを始めます。中高一貫教育の強みを生かして「たくましく生きる力」を育んでいきます。

- 教職員数 122名
- 生徒数 1489名(中学校786名、高等学校703名)
- 開設年 中学校1956(昭和31)年、高等学校1951(昭和26)年
- 所在地 〒157-8560 東京都世田谷区成城1-13-1  
TEL. 03-3415-0104

\*教職員数、生徒数は2013(平成25)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 難関大学への合格者が過去最高に

2012年度の卒業生は中高一貫教育の第一期生にあたり、模試などの結果でも高い成績を挙げていました。そんな彼らの合格実績は、国公立大学、難関私立大学ともに前年度を大幅に上回る合格者数となり、過去最高を記録しました。

国公立大学に66名(前年度比38%増)、早慶上理(早稲田・慶應義塾・上智・東京理科)とICU(国際基督教)には127名(前年度比41%増)、GMARCH(学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政)には201名(前年度比34%増)が合格。2011年度同様、理工系、医歯薬系への合格者も目立っています。

また、2013年度募集の中学入試においては、240名の定員に対して前年度を超える4809名の志願者が集まりました。これにより3年連続して都内私立中学校でトップの志願者数を達成しています。

2013年度の中学募集からは、Ⅱ類(最難関国公立大)とⅠ類(難関国公立私大)のコース制がスタートし、今後さらに高

い合格実績が挙げられると期待しています。

2012年度の2学期から図書館を自習室として20時まで開放し、その時間に東京大学の学生チューターを複数名配置して、質問したり学習・進路指導のアドバイスを受けられたりするなど、学習環境の充実を図りました。

### 語学研修の内容を大幅に改善

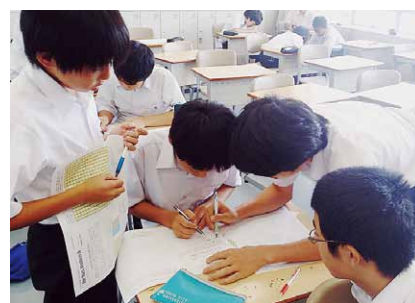
2013年度以降は、グローバル化を推進する取り組みを始めます。まずは、これまで行ってきたニュージーランドでの語学研修プログラムを大幅に見直し、生きた英語と異文化が学べる3週間のプログラムに変更します。対象となるのは中学3年生、高校1年生で、ホームステイをしながら現地校の授業に参加します。

2014年度入試からは、帰国生枠を設けて、海外経験のある生徒の募集を開始します。特別入試枠を設けてグローバルな感覚を持った生徒が入学しやすい体制を整えます。

### 「たくましく生きる力」を育成

2013年度からは、本学が目指す「たくましく生きる力」を育てる教育を具体的に実践していきます。2013年度入学の新中学1年生には、入学式前日に1人で登校させ、入学直後にも2泊3日のオリエンテーション合宿を実施するなど、生徒たちが自立への一歩を踏み出せるよう、少しだけ背中を押ししています。

さらに中学1年生から高校3年生まで、日々の学習や行事、クラブ活動などを通じて、困難を回避せずにチャレンジする精神を身に付けてほしいと考えています。



数学応用講座(中学2年生)での勉強風景。ジュニアオリピックの過去問題に額を寄せ合ってチャレンジ

■ウェブサイト <http://www.tcu-jsh.ed.jp/>



### ■2012年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新コース制(最難関国公立大/難関国公立私大)導入に向けた準備を実施</li> <li>・中高6カ年一貫教育体制の完成年度として、現体制の改編・整備に努めた</li> <li>・中学3年生の英検取得率の向上を図り、3級95.3%、準2級46.8%を達成</li> </ul>
	キャリア教育 研修など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学3年生対象の「キャリアスタディ」の充実を図り、企業研修やマナー講座を実施</li> <li>・生徒による授業アンケートをはじめ、新任・中堅教員の研修など、教育力向上を促進</li> <li>・夏冬春期の各研修会や進路研修会など、校内での全体研修を実施</li> </ul>
	英語国際教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュージーランドで高校の授業に参加する語学研修プログラム(3週間)を実施</li> </ul>
広報活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式Facebookページを新たに開設</li> <li>・オープンスクールおよび学校説明会を複数回開催</li> <li>・東京私立男子校フェアなど、外部の学校説明会にも積極的に参加</li> </ul>

## 学びのなかで芽吹く「ノブレス・オブリージュ」の精神



原田 豊 校長

共学部高校1期生卒業の年を迎え、2010年から取り組んできた「システム4A」「システムLiP」といった学習システムの効果が、具体的な進学実績となって現れました。自ら学び、上級生が下級生を導く姿などからは、人間としての成長を感じます。今後もこの精神を大切に本校ならではの特色を色濃くしていきます。

- 教職員数 99名
- 生徒数 940名(中学校462名、高等学校478名)
- 開設年 中学校1947(昭和22)年、高等学校1948(昭和23)年
- 所在地 〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1  
TEL. 03-5962-0104

\*教職員数、生徒数は、2013(平成25)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 前年度を上回る合格実績

2010年の共学部スタートから3年が経ち、2012年度は共学部1期生(高校生)が卒業を迎えました。そして、特別選抜・特別進学・進学のどのコースの生徒も改革初年度の1期生として、後輩の指針となる見事な結果を出すことができました。もちろん女子部の生徒もよく頑張りました。

大学合格実績は、国公立大学22名、早慶上理(早稲田、慶應義塾、上智、東京理科)31名、GMARCH(学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政)54名という結果を挙げ、また、付属進学制度を利用して東京都市大学に合格した生徒は207名となりました。

こうした合格実績は、3年前にスタートした本校独自の教育システム「システム4A」や「TQノート」をはじめ、新校舎の自習スペースなどが有効に機能した成果だと考えています。実験を重視した理科教育に力を入れてきたこともあり、理系志向の生徒が数多く育っています。

2013年度募集の中学入試では、首都圏の私立中学第4位の志願者数(4103名)となり、前年度から373名増となりました。

### 英国名門校との交流がスタート

「グローバルリーダーの育成」を理念に掲げる本校では、国際教育プログラムにも力を入れています。これまでの米国ハーバード大学、英国オックスフォード大学ハートフォードカレッジでの語学研修に加え、英国の名門パブリックスクールとして知られるラグビー校と交流プログラムを締結しました。本校生徒が語学研修に行くだけでなく、ラグビー校の生徒を受け入れ、短・長期の交換留学を実現します。

交流プログラムは、2013年度の短期交換留学からスタートし、2014年度には修学旅行、2016年度からは長期交換留学というように、段階的に導入していく計画です。

本校が目指す「ノブレス・オブリージュ」の象徴ともいえる英国の名門パブリックスクールとの交流を通して、高潔な精神

を学ぶことになるでしょう。

### 新たなコース制の導入検討

2013年度には「SST(Super Science Todoroki)プログラム」を導入し、実験重視の理科教育をさらに充実させます。本校の特徴である「英語・国際教育」「理科教育」を発展させ、2015年度には「グローバルリーダーコース」、2016年度からは「医学部コース」の設置に向けた準備を進めています。2014年度入試からは帰国子女入試枠を設け、よりグローバルな学習環境の実現を目指します。



英国の名門パブリックスクール・ラグビー校での語学研修(中学2年、3年)。身振り手振りを交えて英語にチャレンジ

■ウェブサイト <http://www.tcu-todoroki.ed.jp/>



### 2012年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育設計・キャリア教育	・「システム4A」を改善。3年間5教科分のテストを基に問題集を作成
	英語国際教育	・中学2年生から高校2年生までの新たなキャリア教育ビジョン案を策定
		・英国の名門パブリックスクール・ラグビー校との交流プログラムを締結
		・英国オックスフォード大学ハートフォードカレッジにて語学研修を実施(高校2年生)
グループ連携	科学教室	・東京都市大学二子幼稚園の園児(年長組)を対象とした科学教室を開催
課外活動	全国大会	・舞チア部が「USA Nationals in Japan2013」(全国大会)で優勝
その他		・環境省カーボン・オフセット支援事業に採択(認証期間:2012年10月1日~2013年9月30日)

## スポーツ・学業ともに充実し地域に愛される総合高校



赤羽 利文 校長

全国レベルで活躍中の運動部など、クラブ活動の充実とともに、進学実績においても躍進が目立つようになりました。今年度は地域貢献を通じて地域の皆さまから感謝される学校として、生徒の心の成長にも取り組む施策を進めています。2015年には新校舎が竣工する予定で、さらなる改革を推進してまいります。

- 教職員数 69名
- 生徒数 799名
- 開設年 1956(昭和31)年
- 所在地 〒399-0703 長野県塩尻市広丘高出2081  
TEL. 0263-88-0104

\*教職員数、生徒数は、2013(平成25)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 国公立大学合格者数の目標達成

2012年度の卒業生は当初の目標どおり、国公立大学(信州大学、都留文科大学、山梨大学、埼玉大学)に5名が合格しました。私立大学では、早稲田大学、順天堂大学など有名私立大学への合格者を輩出し、学内も盛り上がっています。

東京都市大学には7名が進学。彼らは在学中に東京都市大学との双方向通信システムを利用した遠隔授業を校内で受講し、単位認定されるなど、早い段階から大学での学力向上につながるよう取り組んでいた生徒です。受講生徒は皆、学習ポテンシャルが高く、大学の講義「マクロ経済学」において、1名は“優”を取得しています。

2013年度以降は、このような教育改革を踏まえ、東京都市大学進学者を約20名にすることを目指しています。

本学は、野球、サッカー、女子バレーボールなどスポーツでの活躍が目立っています。全国レベルで活躍する生徒は学業面でも優秀な生徒が多く、本校志願者

数増加の求心力にもなっています。

### 教員の指導力をさらに向上

2011年に始まった「スーパーZプロジェクト」以来、学校全体で学力向上に取り組むようになり、それに伴い一人ひとりの教員の意識が高まったことを日々実感しています。

2012年度は、教科ごとに授業戦略を事前検討し、教員同士が意見を出し合う「研究授業」を導入しました。

2013年度は前年度の3倍の「研究授業」を実施します。国公立大学への合格者10名という目標を達成するためにも、授業改革を含むさらなる指導力の強化が不可欠と考えています。

また、理数系や英語関連の科目については、指導体制を強化するため新任教員を採用しています。なかには元公立高校の校長経験者というベテラン教師もおり、経験と知識を生かしたアイデアを提案するなど、他の教員にとっても良い刺激になっています。

### 総合工学科を普通科に再編

2012年11月から、私たちは塩尻高校改革計画づくりに取り組んでいます。教育改革、校舎改築計画などを盛り込んだこの計画は、さらに魅力ある総合的な高校へ成長することを目指すものです。

総合工学科を普通科に再編することもその一つ。本校の原点でもある工業教育を生かしつつ、普通科の「文理進学類型サイエンステクノロジーコース」として生まれ変わります。大学や企業、行政などの協力を得て、高度で実践的な科学と技術が学べる課題研究も行います。



第18回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会で2連覇を達成した女子バレーボール部

■ウェブサイト <http://www.tcu-shiojiri.ed.jp/>



### ■2012年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	進学サポート	・学習目標の明示および学習方法の指導などによる学習習慣の定着を図る ・塾や予備校、チューターとの連携や個別指導の充実などによる学力向上 ・放課後学習の充実および個人カルテに基づいた学習計画の作成を実施
	キャリア教育	・外部講師を招聘するなどキャリア教育の充実を図る
グループ連携		・双方向通信システムを利用した東京都市大学との遠隔授業を導入 ・東京都市大学の教授陣による市民公開講座および教養講座を開催
広報活動	説明会	・体験学習会(3回)、学校説明会(3回)を開催
課外活動		・女子バレーボール部が第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会でベスト16、第18回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会で全国制覇
その他	安全対策	・防災訓練や救急救命講習の実施により生徒の危機管理意識向上に努める

## 「豊かな心」を育む教育が「高い学力」につながる



重永 睦夫 校長

近年、メディアや教育評論家から「日本一楽しく中学受験できる小学校」「費用対効果の高い小学校」として紹介されるようになり、名だたる名門校と並びランキングされることが増えてきました。これからも建学の精神に基づき「高い学力」と「豊かな心」を育む教育を継続し、毎年新たなことに挑戦していきます。

- 教職員数 34名
- 児童数 475名
- 開設年 1956(昭和31)年
- 所在地 〒157-0066 東京都世田谷区成城1-12-1  
TEL. 03-3417-0104

\*教職員数、児童数は、2013(平成25)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 楽しく学んで志望校へ

2012年度の卒業生は、東京都市大学付属中学校、東京都市大学等々力中学校のほか、桜蔭や麻布・筑駒など私立・国立の難関校に数多く進学しました。進学実績は年々素晴らしい成果を残しています。だからといって中学受験のための詰め込み教育ではなく、小学校らしい「楽しい学校生活」を重視している点が本校の特徴です。

フランス料理家として知られる三國清三シェフが指導する食育プログラム「ミクニレッスン」や豊富な体験学習を通して「豊かな心」を育むことが、中学受験に立ち向かう「高い学力」の土台になると考えています。2012年度も『考えを深め合い、進んで表現する子』を全学年共通のテーマに研究授業を行いました。

また、新たな取り組みとして2012年度に導入した「電子黒板」「速読講座」ともに、徐々に学習効果を実らせています。今後も効果測定などを行い、カリキュラムのブラッシュアップを続けます。

### 安全対策や情報公開を強化

2年目となる「保護者アンケートによる学校満足度調査」を実施しました。どの項目も高い満足度ですが、なかでもミクニレッスンと安全対策は特に高く、いずれもほぼ100%でした。

東日本大震災を機に見直した安全対策では、地震などの災害、火災、不審者対応を想定した避難訓練を年8回実施。分厚い安全マニュアルを廃し、要点を絞り込み、教員用、保護者用、児童用それぞれ携帯できるサイズのものを作成し、全員に配布しました。

また、東急グループの学童サービス「キッズベースキャンプ」との提携を進めています。迎えに来るオプションもありますので、共働き家庭の児童も安心して放課後を過ごすことができます。

学びやすさや安全性など学校情報を発信するために、公式Facebookページをスタートしました。「先生ブログ」と並行して、毎日学校や児童の様子を写真入りで更新しています。保護者や一般の方々からもコ

メントがたくさん届いています。

### 独自の2期制を導入

2013年度から、3学期制の特長を取り入れた2期制を導入します。2期制にすることで学力集中期間と学校行事期間を明確に分けダイナミックな教育展開が可能になります。また、学期末が3回から2回に減り、その分を授業の準備や児童と向き合う時間に当てられます。夏・冬休み前後には、従来の始業式・終業式に替わるセレモニーを行い、ON/OFFの切り替えを明確にします。



ジョークの中にも食育のエッセンスが盛り込まれる三國シェフの授業。アンケートの満足度は2年連続でほぼ100%

■ウェブサイト <http://tcu-elementary.ed.jp/>



### ■2012年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	学習活動	・各教室への「電子黒板」導入およびパソコン拡充による「速読プログラム」導入
		・算数の習熟度別学習および受験のための国語特別学習の充実
		・教科部会、教科研究の時間を確保し、4教科の学力向上を図る
		・三國清三シェフによる「食育プロジェクト」の継続と充実をはじめ、体験学習の充実を図る
		・都市大グループの「国際化教育」目標に基づいた国際化プログラムの研究
・二期制導入に関する検討およびカリキュラムの策定		
グループ連携	学校間連携	・東京都市大学主催の科学体験教室に児童が参加
広報活動	ホームページ	・学校ホームページをスマートフォンに対応、「先生ブログ」を継続
	説明会	・学校説明会や幼児教室などへの広報活動を充実
その他	安全対策	・防災避難訓練や警察による交通安全指導等を実施し防災マニュアル改正

## 遊びを中心として三育（知徳体の教育）を達成する



重永 睦夫 園長

2013年度より、付属小学校校長と二子幼稚園園長を兼任することになりました。少しの時間でも園児と接するために、自転車ですぐに小学校と幼稚園を往復する日々です。本園は、教員、保育環境ともに恵まれており、発展の可能性に満ち溢れています。今後は、建学の精神を高らかに掲げて三育（知育・徳育・体育）をすすめます。

- 教職員数 18名
- 園児数 210名
- 開設年 1955(昭和30)年
- 所在地 〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-17-10  
TEL. 03-3708-0104

\*教職員数、園児数は、2013(平成25)年5月1日現在 \*教職員数は非常勤教職員を含む

### 遊びを主体に知育も

本園では、心と体の健やかな成長のために「遊び」と「指先を使うこと」を大切にしている保育を行っています。広い園庭で思い切り体を動かすなかで、友だちとのコミュニケーションや遊びのルールを覚えたり、工夫することや思いやりなどを学ぶことができます。子どもたちが基本的な生活習慣を守ることをサポートする一方で、具体的な援助の手法については教員同士で情報を共有しています。

指先を使うことは脳の刺激にもなるため、折り紙をはじめ、はさみやノリを使った工作も積極的に取り入れています。

今後は、遊びを主体とした保育のなかで「知育」の要素を組み込むことを検討しています。年少クラスのうちから、ひらがなが読めること、時計を読めるようになることを目標に、まずは子どもたちに興味を持たせるところから徐々に始めていく考えです。教員たちも外部団体などで行われる保育に関する研究会・研修会に積極的に参加し、さらなる保育力の

向上を図ります。

2013年度からは、建学の精神「健康・知性・風格・自立・感動と畏敬」を高らかに掲げて、本園の教育によって「目指すこども像」として保護者の皆さまにも伝えていきます。

### 学校間連携を活性化

東京都市大学人間科学部児童学科の学生による教育実習生の受け入れ、園児の野菜収穫体験での学生の援助など、都市大グループ間連携を実施しています。

2012年度は、東京都市大学等々力中学校・高等学校との連携により、理科実験教室が始まりました。等々力中学・高校の理科専任教員と中学校理科部の生徒が、園児が興味を持つような日常の不思議について、楽しみながら学べる実験プログラムを目の前で披露しました。反響もよく、毎年行うことになりました。

東京都市大学付属小学校には、推薦入学制度を利用して毎年15名前後の園児が進学します。2013年度は17名が付属

小学校に入学しました。

### 保護者との信頼関係を築く

災害への備えや遊具など園内施設の安全点検・更新を常に行うのはもちろんのこと、保護者および未就学児の保護者への情報発信を充実させています。園ホームページをスマートフォン対応にしたところ、閲覧数が大幅に増加しています。

2013年1月より「先生ブログ」を開発し、園長と副園長とで毎日子どもたちの様子をお伝えしています。



ピーマン、なす、きゅうりなどの苗を植えています。葉の形や茎の色の違いを観察し、どんな花が咲き、実がなるのか楽しみにしながら毎日水をあげています

■ウェブサイト <http://www.tcu-futako.ed.jp/>



### 2012年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育内容の充実	・子どもたちが「主体的な生活を送る」ための環境づくり、サポート体制を整備 ・保護者へ子どもたちの成長を伝えることで課題などを共有・共感し、家庭と連携を強化
	教育研修	・子どもの活動を促し導くための園内研修を実施 ・外部団体などが主催する研究会、研修会に参加し、保育力のアップ、見識を深める
グループ連携	教育実習	・東京都市大学人間科学部児童学科から教育実習生を受け入れ
	行事	・東京都市大学等々力中学校・高等学校との協働による科学教室を開催 ・東京都市大学人間科学部児童学科との協働による野菜収穫体験を実施
広報活動		・園ホームページをスマートフォン対応にし、「先生ブログ」などでも情報の発信を強化 ・東急線・小田急線沿線 私立幼稚園合同相談会に初参加
その他	安全管理	・年3回、放射線量などの測定を実施(東京都市大学グループ全体の取り組み)





**[施設DATA]**

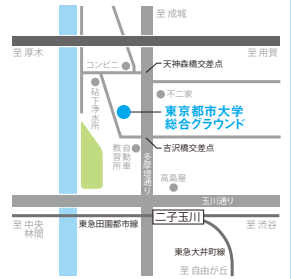
**所在地:** 東京都世田谷区鎌田1-16-1

**設備:** 野球場1面(両翼90m、中堅100m)、テニスコート4面、多目的グラウンド1面(テニスコート9面相当)、クラブハウス2棟

**アクセス:** 東急田園都市線二子玉川駅から東急バス砧本村行きで約10分、「都市大総合グラウンド前」下車すぐ/成城学園前行きで約7分、「吉沢」下車徒歩5分

**東京都市大学 総合グラウンド**

総合グラウンドは、東京都市大学グループを形成する大学から幼稚園までの学生・生徒・児童・園児たちが、健康と体力の増進をはじめ、様々な教育活動、学校生活の充実を図る場所として、2010年6月に開設しました。敷地面積は26,901㎡。各校の中間地点に位置しています。「グループ全体の総合力発揮」を体現する施設、取り組みの中心となるよう、施設設備の整備と充実を図り、信頼感と安心感ある学園づくりに取り組んでいます。



**[施設DATA]**

**所在地:** 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 学校法人五島育英会ビル地下1階

**設備:** 教室(48名収容)、教員控室、受付、プロジェクター、プラズマディスプレイなど

**アクセス:** JR渋谷駅西口(南改札)から徒歩5分/京王井の頭線渋谷駅西口から徒歩2分

**東京都市大学 渋谷サテライトクラス**

2010年4月、東急各線をはじめ、JR各線、複数の地下鉄路線が乗り入れる渋谷に「東京都市大学渋谷サテライトクラス」が誕生しました。渋谷駅から徒歩5分という好立地にあり、東京都市大学と早稲田大学による共同大学院「共同原子力専攻」(2010年4月開設)の教育・研究開発の拠点として利用されています。周辺には宿泊施設も充実しており、企業・官公庁・大学、さらには世界各国からの技術者・研究者が来訪しやすい好環境となっています。



**[施設DATA]**

**所在地:** 山梨県北杜市高根町清里3545-1

**設備:** 宿泊室(和室14畳:11室、8畳:1室)、ラウンジ、ダイニング、乾燥室・洗濯室、浴室、展望室など

**アクセス:** JR中央線小淵沢駅から小海線清里駅下車、タクシーで約10分 / (東京から)中央自動車道須玉ICから国道141号線

**ホームページ:** <http://www.yatsu-tcu.jp/>

**五島育英会 ハケ岳山荘**

ハケ岳山荘は、大自然の山懐に優しく包まれた清里高原にあります。東京都市大学グループの学生・生徒および教職員などが、ゼミやクラブの合宿、研修場所として利用することができるオールシーズン型の宿泊施設です。館内には12の和室があり、ラウンジや食堂、浴室、展望室のほか、体育館を併設しています。周辺エリアには、清里の森美術館やオルゴール博物館など著名な観光スポットがあり、良い環境のもと様々なことを学ぶことができます。



**渋谷サテライトクラスで特別講義を開講**

2012年4月10日から8回にわたり、東京都市大学知識工学部経営システム工学科の特別講義『グローバル社会における経営』を開講しました。ユニークな講演者が人気の秘密です。例えば第6回には、本学で機械工学を学んだ後、通商産業省(現・経済産業省)を経て、米国で特許弁護士として活躍する服部健一氏が登場。講演終了後は、毎回懇親会も用意されており、学生にとってはビジネス界の大先輩と交流する貴重な機会となりました。



第1回	4/10	鈴木成一教授	知識工学部 経営システム工学科 / 元PHILIPS 副社長
第2回	4/17	鈴木康弘氏	セブネットショッピング 社長
第3回	5/8	増田文彦氏	タマホーム 専務取締役
第4回	5/22	南川 明氏	アイサプライ・ジャパン 副社長
第5回	6/5	田矢盛之氏	応用地質 元社長、現最高顧問
第6回	6/19	服部健一氏	米国弁護士 ジュリス・ドクター
第7回	7/3	佐藤興一氏	セコム 副社長
第8回	7/17	鈴木成一教授	知識工学部 経営システム工学科 / 元PHILIPS 副社長

20-23ページの数値データは、2013年5月1日現在のものです。

■ 東京都大学グループ各学校の在学学生生徒数

(単位：人)

区分		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
東京都大学	工学部	3,096	3,096	3,114	3,117	
	知識工学部	1,143	1,176	1,196	1,242	
	環境情報学部	1,970	1,975	1,962	1,470	
	環境学部				261	
	メディア情報学部				250	
	都市生活学部	395	551	708	725	
	人間科学部	201	314	425	438	
	(大学院)	工学研究科	594	668	646	592
	環境情報学研究科	52	66	60	55	
付属高等学校		729	696	699	703	
付属中学校		746	745	776	786	
等々力高等学校		551	637	704	478	
等々力中学校		286	376	458	462	
塩尻高等学校		736	811	811	799	
付属小学校		476	475	474	475	
二子幼稚園		214	202	208	210	
合計		11,189	11,788	12,241	12,063	

■ 東京都大学グループ各学校の志願者数

(単位：人)

区分	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
東京都大学	15,848	15,370	16,282	18,818
その他	8,487	9,346	10,136	11,021
合計	24,335	24,716	26,418	29,839

■ 五島育英会の教職員数

(単位：人)

区分	教員		専任職員
	専任	非常勤	
法人本部	0	0	40
東京都大学	272	315	180
東京都大学付属中学校・高等学校	71	42	8
東京都大学等々力中学校・高等学校	57	33	7
東京都大学塩尻高等学校	40	23	6
東京都大学付属小学校	18	11	5
東京都大学二子幼稚園	11	4	2
東急自動車学校	0	18	76
合計	469	446	324

■ 東京都大学グループ各学校の校地・校舎の規模

(単位：㎡)

	東京都大学				合計 <sup>※2</sup>	
	工学部・ 知識工学部 <sup>※1</sup>	環境情報学部・ 環境学部・ メディア情報学部	都市生活学部・ 人間科学部			
校地面積	147,202.08	64,687.96	11,531.00		223,421.04	
校舎面積	71,647.59	21,403.71	14,326.18		107,377.48	
	付属中学校・ 高等学校	等々力中学校・ 高等学校 <sup>※3</sup>	塩尻高等学校	付属小学校	二子幼稚園	全体合計
校地面積	24,387.00	37,992.00	38,796.00	7,588.00	1,881.00	334,065.04
校舎面積	16,618.54	15,520.57	11,668.27	5,978.51	1,168.35	158,331.72

※1 世田谷キャンパスおよび原子力研究所・総合研究所の計 ※2 校舎面積に渋谷サテライトクラス(197.62㎡)は含めない ※3 総合グラウンドを含む(校地)26,901.00㎡(校舎)950.87㎡

■ 東京都大学グループ各学校の図書館蔵書数

(単位：冊)

	都市大 グループ 総数	東京都大学			付属 中学校・ 高等学校	等々力 中学校・ 高等学校	塩尻 高等学校	付属 小学校	二子 幼稚園
		世田谷 キャンパス	横浜 キャンパス	等々力 キャンパス					
和書	527,212	185,824	96,137	155,505	33,615	22,864	18,350	12,170	2,747
洋書	118,911	79,697	17,500	21,007	24	683	0	0	0
小計	646,123	265,521	113,637	176,512	33,639	23,547	18,350	12,170	2,747
雑誌種類数	2,914	2,210	362	225	89	28	0	0	0
視聴覚資料数	9,229	3,586	4,487	491	342	323	0	0	0
総合計	658,266	271,317	118,486	177,228	34,070	23,898	18,350	12,170	2,747

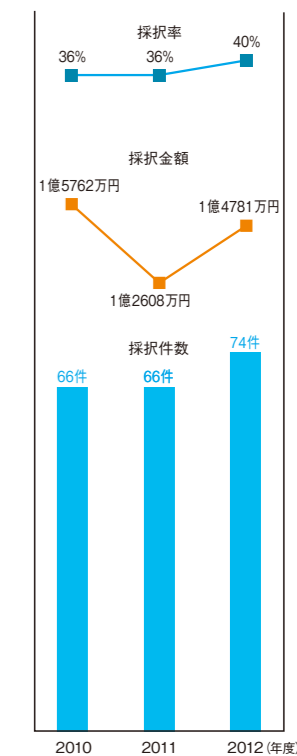
■ 東京都大学 競争的研究資金および研究助成(2012年度)

(単位：千円)

事業名・助成金名など	担当官庁ほか	所属	氏名	受入額
最先端・次世代研究開発支援プログラム	内閣府	環境情報学部環境情報学科	伊坪徳宏	55,250
最先端研究開発支援プログラム	内閣府	総合研究所	白木靖寛	4,800
最先端研究開発支援プログラム	内閣府	知識工学部情報ネットワーク工学科	堀田正生	31,260
原子力基礎基盤研究委託事業	文科省	工学部原子力安全工学科	松村 健	7,980
エネルギー対策特別会計委託事業	文科省	工学部原子力安全工学科	高木直行	157
建設技術研究開発費補助金	国交省	工学部建築学科	西村 功	11,700
環境研究総合推進費	環境省	環境情報学部環境情報学科	野田昭宏	4,511
環境研究総合推進費	環境省	環境情報学部環境情報学科	古川 務	2,186
戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)	総務省	工学部電気電子工学科	丸泉琢也	18,402
科学研究費補助金	厚労省	人間科学部児童学科	近藤雅雄	200
省水型・環境調和型水循環プロジェクト/水循環要素技術研究開発	NEDO	工学部都市工学科	長岡 裕	1,575
先導的産業技術創出事業費助成金	NEDO	工学部エネルギー化学科	金澤昭彦	17,342
研究成果最適展開支援事業(A-STEP)	JST	工学部機械工学科	龜山雄高	799
研究成果最適展開支援事業(A-STEP)	JST	工学部機械工学科	龜山雄高	2,515
研究成果最適展開支援事業(A-STEP)	JST	工学部エネルギー化学科	黒岩 崇	221
研究成果最適展開支援事業(A-STEP)	JST	工学部原子力安全工学科	持木幸一	3,900
戦略的創造研究推進事業	JST	工学部建築学科	大橋好光	2,810
草の根技術協力事業	JICA	環境情報学部環境情報学科	史 中超	9,699
研究助成金(公益財団法人日揮・実吉奨学会)		工学部エネルギー化学科	黒岩 崇	2,000
鉄鋼研究振興助成(社団法人日本鉄鋼協会)		工学部エネルギー化学科	江場宏美	1,000
研究助成金(公益財団法人ホク生生物科学振興財団)		工学部エネルギー化学科	黒岩 崇	500
JICE 研究開発助成(財団法人国土技術研究センター)		工学部都市工学科	吉川弘道	1,528
研究助成金(公益財団法人鹿島学術振興財団)		工学部建築学科	近藤靖史	1,450

文部科学省科学研究費助成事業(科研費)・研究種目	件数	配分額
新学術領域研究	1	32,370
基盤研究(A)	1	5,590
基盤研究(B)	10	21,060
基盤研究(C)	47	69,550
挑戦的萌芽研究	5	5,200
若手研究(B)	10	14,040
合計	74	147,810

■ 文部科学省科学研究費補助金(科研費)の採択件数、金額、採択率の推移



■ 東京都大学の海外協定校

- オレゴン工科大学(米国)
  - 学術資料、刊行物および情報の交換 ○教職員の交流
  - 学生の交流 ○共同研究開発および研究会などの実施
- 北京建築工程院(中国)
  - 出版物文献などの交換
  - 教職員および学生の相互または一方からの派遣
  - 相互友好訪問 ○その他協定に基づく交流
- スロバキア工科大学(スロバキア)
  - 教育と研究についての情報交換の促進
  - 教員、研究者、大学院生の交換の促進
  - 相互の関心分野における協力計画の促進
- パデュー大学(米国)
  - 教員の交流 ○大学院生の交流 ○共同研究
  - その他相互に合意した教育プログラム
- 南台科技大学(台湾)
  - 専任教職員および研究者の交流 ○学部学生および大学院生の交流
  - 学術情報、資料の交換 ○共同研究、会議、教育活動の推進
  - 合意で決定したその他の交流活動

- 武漢大学(中国)
  - 教育プログラムと教材開発
  - 共同による遠隔教育プログラム
  - 単位互換に基づく学生交流プログラム
  - 教員および事務職員の相互交流
- サストラ大学(インド)
  - 教育プログラムと教材開発
  - 単位互換に基づく学生交流プログラム
  - 教員および事務職員の相互交流
  - 学術交流、情報交換および共同研究
- ソフィア工科大学(ブルガリア)
  - 共同研究活動 ○講義、講演、諸会議への参加、討議および討論会のための学者の招へいと交換
  - 勉学と研究のための教官、学部学生ならびに大学院生の交換
- 北京林業大学(中国)
  - 環境モニタリングシステムの構築
  - 沙漠化防止のための環境教育プログラム
  - 教員および事務職員の相互交流
  - 学生および大学院生の交流プログラム

- カンタベリー大学(ニュージーランド)
  - 学生の交換プログラム
  - 学部、教育スタッフおよび事務スタッフ間の交流
  - 学術的交流および情報交換と共同研究
  - その他双方の合意による教育プログラム
- カーティン大学(オーストラリア)
  - 両大学の関心のある分野での情報交換
  - 研究連携プロジェクトおよび連携授業
  - 文化的交流プロジェクトの実施
  - 学生の交流 ○教職員の交流
- トリバン大学(ネパール) [環境学部・メディア情報学部]
  - 共同研究および論文発表
  - 講義、意見交換のための学者の招へい
  - 両大学の関心のある分野での情報交換
  - 教員と学生の学術交流
- エディスコワン大学(オーストラリア)
  - 相互視察 ○学生交流 ○教職員交流 ○単位互換
- タマサート大学(タイ) ※2013年5月10日締結
  - 共同研究の実施 ○研究交流
  - 講演などの相互開催 ○学生の交流

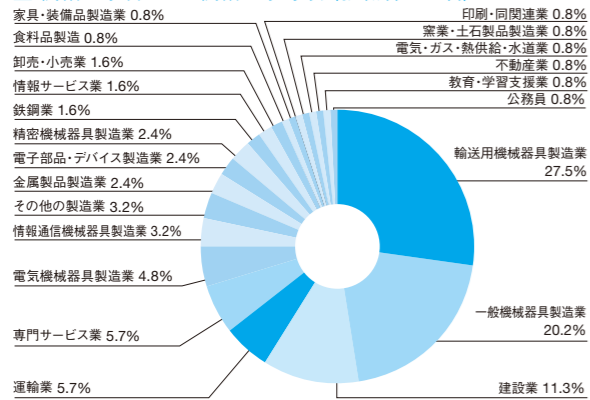
■ 東京都大学 外国人留学生の出身国・地域別人数

(単位：人)

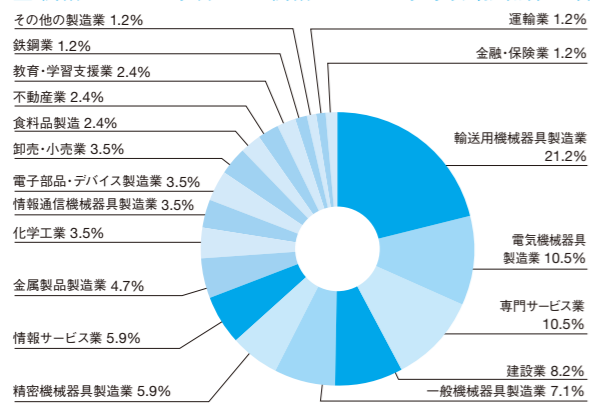
国籍・地域	工学部	知識工学部	環境情報学部	環境学部	メディア情報学部	都市生活学部	工学研究科	環境情報学研究科	合計
中華人民共和国	28	17	28	0	1	7	10	4	95
大韓民国(韓国)	6	1	4	0	0	0	0	0	11
中華民国(台湾)	0	2	0	0	0	0	0	0	2
ベトナム社会主義共和国	0	1	1	0	0	0	0	0	2
ネパール連邦民主共和国	0	0	0	1	0	0	0	0	1
インド共和国	1	0	0	0	0	0	0	0	1
イラン・イスラム共和国	0	1	0	0	0	0	2	0	3
アメリカ合衆国	1	0	0	0	0	0	0	0	1
セネガル共和国	0	1	0	0	0	0	0	0	1
マレーシア	0	0	0	0	0	0	1	0	1
オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	36	23	33	1	1	7	13	5	119

工学部・大学院工学研究科

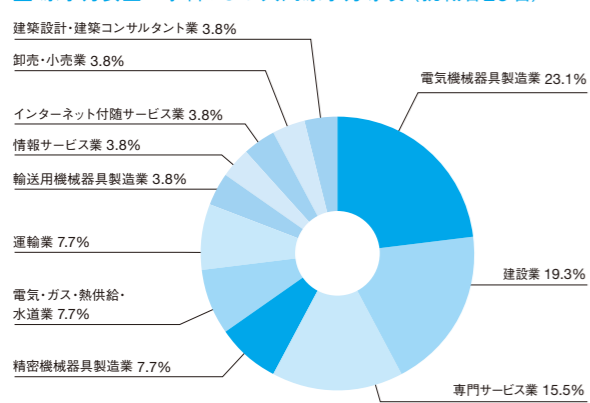
■ 機械工学科および機械工学専攻（就職者128名）



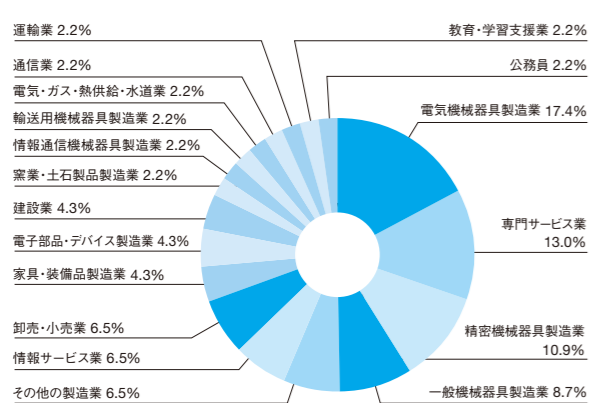
■ 機械システム工学科および機械システム工学専攻（就職者86名）



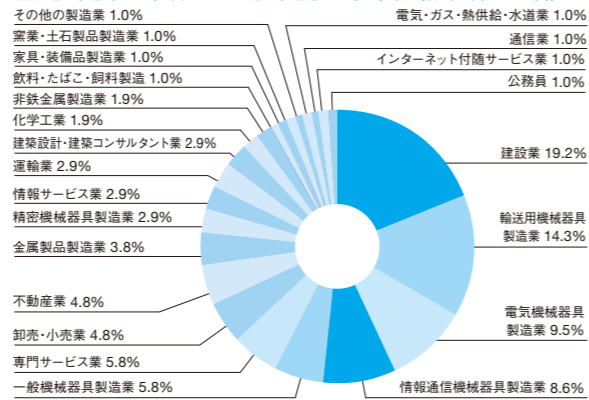
■ 原子力安全工学科および共同原子力専攻（就職者26名）



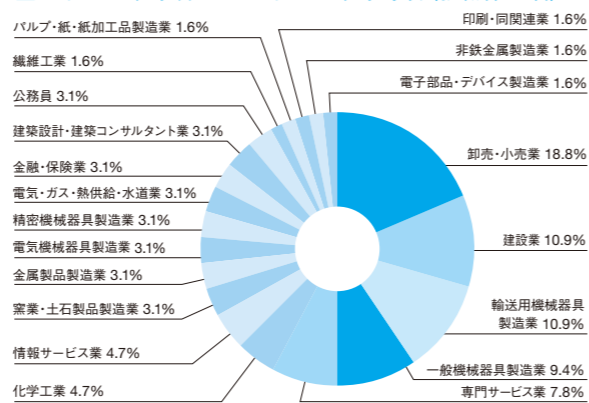
■ 生体医工学科および生体医工学専攻（就職者47名）



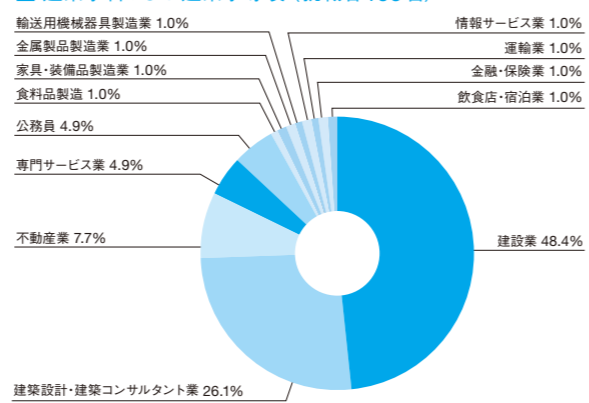
■ 電気電子工学科および電気電子工学専攻（就職者108名）



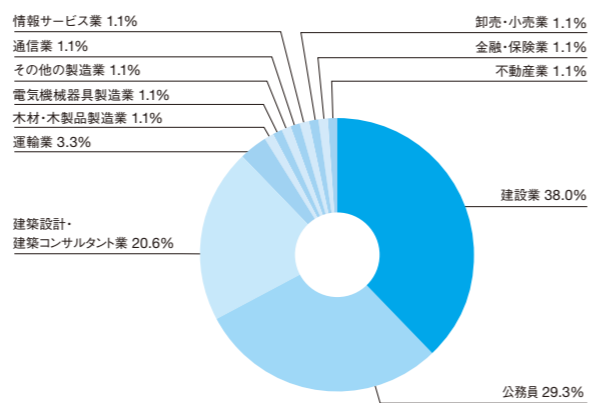
■ エネルギー化学科およびエネルギー化学専攻（就職者68名）



■ 建築学科および建築学専攻（就職者106名）

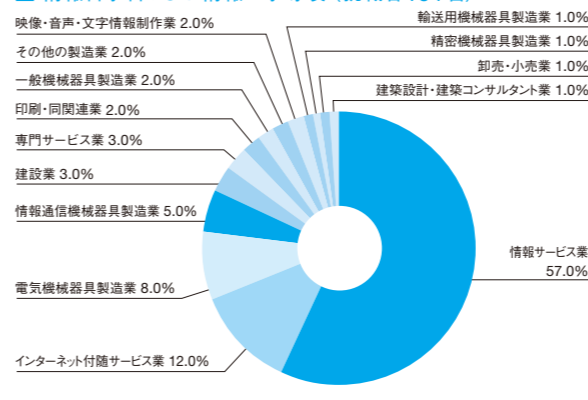


■ 都市工学科および都市工学専攻（就職者94名）

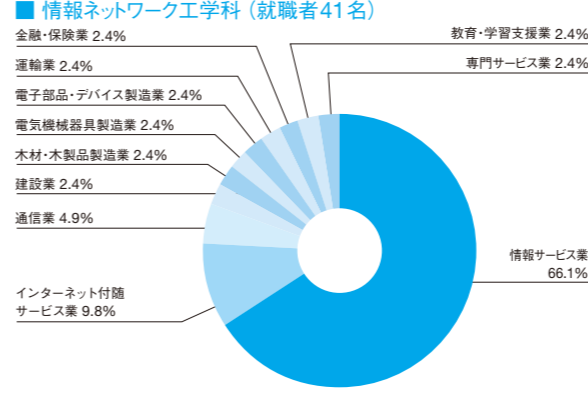


知識工学部・大学院工学研究科

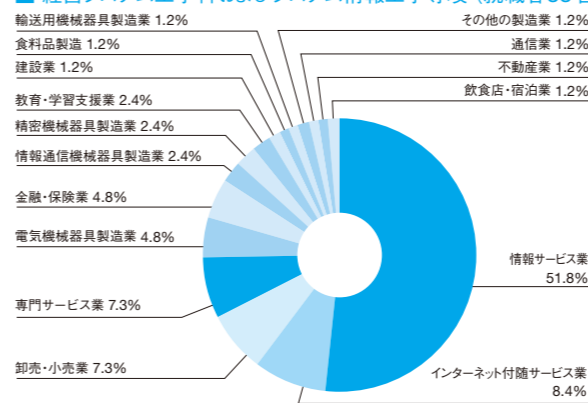
■ 情報科学科および情報工学専攻（就職者104名）



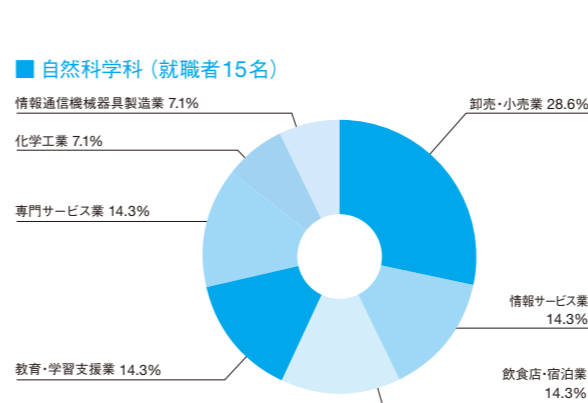
■ 情報ネットワーク工学科（就職者41名）



■ 経営システム工学科およびシステム情報工学専攻（就職者88名）

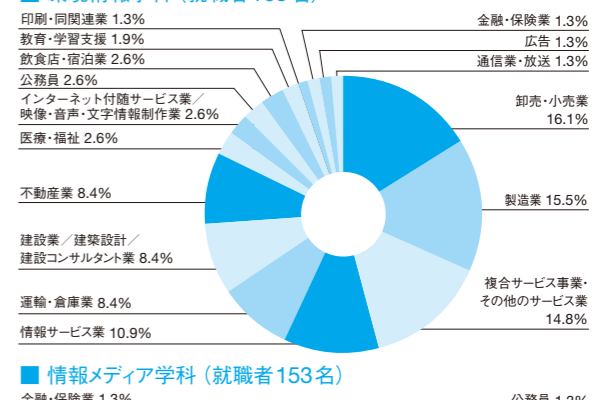


■ 自然科学科（就職者15名）

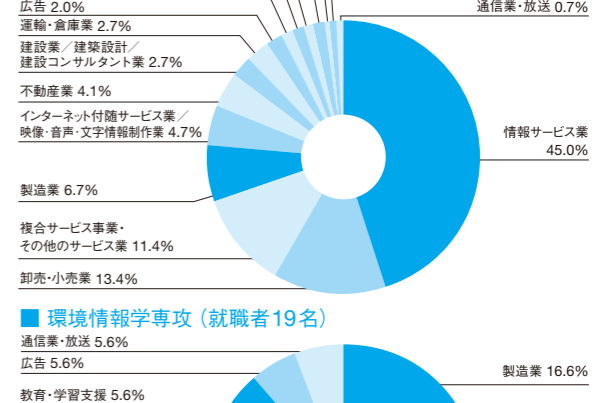


環境情報学部・大学院環境情報学研究科

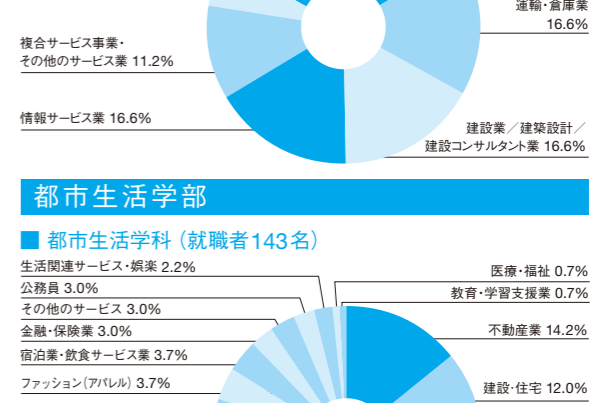
■ 環境情報学科（就職者165名）



■ 情報メディア学科（就職者153名）

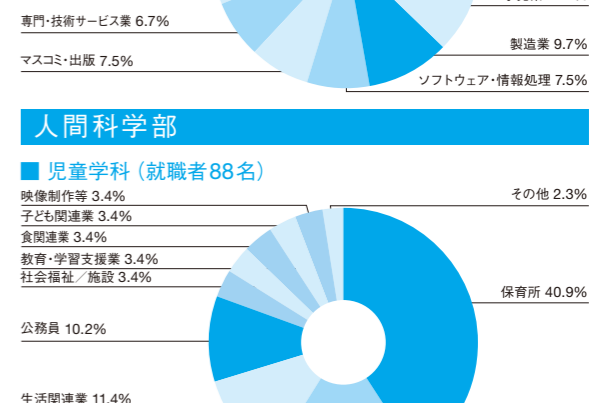


■ 環境情報学専攻（就職者19名）



都市生活学部

■ 都市生活学科（就職者143名）



人間科学部

■ 児童学科（就職者88名）



学校法人五島育英会は、2013（平成25）年5月21日に開催した理事会にて、2012（平成24）年度決算を決定しました。本法人では、学校法人会計基準に基づく計算書（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表等）をウェブサイトなどで公開しています。また、現金の動きを示した「キャッシュフロー計算書（C/F）」、消費収支計算書を損益計算書の形式に置き換えた「消費収支計算書（P/L）」を作成し、よりわかりやすく説明しています。

\*文中および各計算書に記載した金額は百万円未満等、表示単位未満を切り捨てています。そのため合計や増減などの項目で、計算と一致しない場合があります

<b>キャッシュフロー計算書 (C/F)</b> <small>学校法人を構成する各学校などの教育活動、施設等整備活動、財務活動などに関する資金の動きを表す財務諸表です</small>	① 教育研究活動によるキャッシュフロー	<b>39億円</b>	前年比15.3%増
	② 施設等整備活動によるキャッシュフロー	<b>△15億円</b>	前年比—
	③ 財務活動によるキャッシュフロー	<b>14億円</b>	前年比—
	④ キャッシュフロー計 ①+②+③	<b>39億円</b>	前年比11.2%増

\*△は、出金が入金より多いことを示しています

**「教育研究活動によるキャッシュフロー」**  
 2012年度は主に学生生徒数の増加に伴う「学生生徒等納付金」の収入増、および経費の節減により、前年度決算と比べて5億2700万円増加し、39億8300万円のキャッシュインとなりました。

**「財務活動によるキャッシュフロー」**  
 東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設のため新規に20億円の借入をおこない、過年度の借入金を7億1100万円返済したことなどにより、14億7700万円のキャッシュインとなりました。

<b>消費収支計算書 (P/L)</b> <small>学校法人会計の消費収支計算書をもとに経常収支と特別収支に分けて計算しています。企業会計の損益計算書に相当します</small>	① 経常収入	<b>191億円</b>	前年比2.5%増
	② 経常支出	<b>171億円</b>	前年比1.4%減
	③ 経常収支差額 ①-②	<b>20億円</b>	前年比53.9%増
	④ 特別収入	<b>3億円</b>	前年比91.6%減
	⑤ 特別支出	<b>2億円</b>	前年比60.8%減
	⑥ 特別収支差額 ④-⑤	<b>1億円</b>	前年比97.5%減

**「経常収入」**  
 学生生徒納付金、手数料などの収入を計上しています。学生生徒数の増加に伴う学生生徒納付金の増加、自動車学校による事業収入の増加などにより、前年度決算と比べて4億6300万円増加し、191億3000万円となっております。

**「特別収入」**  
 資産売却差額、資産運用収入などの収入を計上しています。前年度には土地賃借権消滅補償料のほか旧東横学園大倉山高校跡地売却により35億3700万円の売却差額が計上されていたため、大きな減少となっております。

**「長期・短期借入金」**  
 借入金の合計は長期・短期の合計で45億5100万円となりました。過年度の借入金を7億1100万円返済しておりますが、東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設が私学事業団の耐震改築長期低利融資の貸付対象となり、あらたに20億円を借り入れたことにより12億8900万円増加しました。

<b>貸借対照表 (B/S)</b> <small>土地・建物などの資産、借入金などの負債、および純資産の状態を明らかにします</small>	<b>資 産</b>		<b>負債・純資産</b>	
	有形固定資産	<b>630億円</b> 前年比1.3%減	長期・短期借入金	<b>45億円</b> 前年比39.5%増
	各種引当特定資産	<b>289億円</b> 前年比13.1%増	他の負債	<b>105億円</b> 前年比1.9%減
	その他	<b>105億円</b> 前年比6.4%増	純資産	<b>874億円</b> 前年比2.4%増
	<b>資産合計</b>	<b>1025億円</b> 前年比3.2%増	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1025億円</b> 前年比3.2%増

\*純資産とは、基本金の部と消費収支差額の部の合計です

**「各種引当特定資産」**  
 各種引当特定資産の内訳は、長期有価証券22億4200万円、退職給与引当特定資産48億8500万円、施設拡充引当特定資産187億2300万円、奨学資金引当特定資産6600万円、施設計画（2号）引当特定資産11億7200万円、第3号基本金引当特定資産18億1200万円、寄付積立特定資産4300万円となります。

2012年度決算について

本年度の決算の概要を消費収支により、前年度実績と対比して説明いたします。

学生生徒等納付金は、135億4200万円となりました。東京都市大学都市生活学部、人間科学部および東京都市大学等々力高等学校の共学部が完成年度を迎えたことなどにより、学生生徒数が445人増となる1万2233人となり、納付金は4億6600万円の増加となりました。手数料は6億1400万円となりました。志願者数は2万3192人となり、2403人増加したことにより7300万円の増加となりました。

寄付金は1億5300万円となり1600万円の減少となりました。補助金は21億7300万円となり1億4200万円減少しました。主に大学の補助金が1億9100万円減少したことなどによります。

資産運用収入は7億2500万円となり、3700万円の減少となりました。資産売却差額は6800万円となりました。これは土地賃借権消滅補償料などによります。前年度は土地賃借権消滅補償料のほか、旧東横学園大倉山高校跡地売却により35億3700万円の売却差額が計上されていたため、34億6900万円の減少となります。

事業収入は16億5700万円となり、1億9600万円増加となりました。東急自動車学校の収入増、大学の受託事業の増加が主な要因となります。雑収入5億1000万円の内、退職金社財団からの交付金は3億2800万円、その他1億8200万円となり、5300万円の減少となりました。

人件費は92億6500万円となり1億5000万円増加いたしました。専任教職員数は801人、兼務教員数は428人となっております（2012年5月1日現在）。

教育研究経費は54億7500万円となり2億6300万円減少しました。主に東京都市大学世田谷キャンパス旧1号館除却による減価償却額の減少および修繕費、除却費等を節減したことによります。管理経費は23億8100万円となり1億2700万円減少しております。主に報酬手数料、賃借費、委託費などを節減したことによります。

資産処分差額他の1億7700万円は、主に東京都市大学世田谷キャンパス旧1号館を除却したことによります。前年度には主に旧東横学園大倉山高校校舎、等々力中高校校舎などの除却により5億3400万円の処分差額が計上されていたため、3億5600万円の減少となっております。

以上によりまして、帰属収入合計は、194億4700万円となり29億8100万円減少いたしました。基本金組入額は10億5800万円となり、16億9300万円減少しました。その要因は、組入対象としていた東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設（2期工事）出来高清算による施設等整備費の減少、および1号館建設が私学事業団の耐震改築長期低利融資の貸付対象となったことなどによります。

以上の結果、消費収入の部合計は183億8900万円、消費支出の部合計は173億6000万円となり、消費収支差額は10億2800万円の収入超過の決算となりました。

キャッシュフロー計算書 (C/F)

「教育研究活動によるキャッシュフロー」は39億8300万円の収入超過となりました。前年度決算と比較すると、寄付金収入、補助金収入などが減少し、人件費支出が増加しました。一方では、学生生徒等納付金収入、手数料収入の増加、および教育研究経費支出、管理経費支出が減少したことなどにより、収入超過額が5億2700万円増加しております。

「施設等整備活動によるキャッシュフロー」は土地賃借権消滅補償料など特別な収入があり、支出面では東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設(2期工事)をはじめ、16億1100万円

の施設設備の整備を行った結果、15億3700万円のキャッシュアウトとなりました。

これらを合計した「事業活動によるキャッシュフロー」では、24億4600万円のキャッシュインとなりました。

「財務活動によるキャッシュフロー」では、東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設のため私学事業団より20億円の借入をおこないました。資産運用収入は2億4900万円を計上し、支出は過年度借入の利息、返済により7億7100万円となった結果、14億7700万円のキャッシュインとなりました。事業活動と財務活動を合計したキャッシュフロー計は39億2400万円のキャッシュインとなりました。

■ 2012 (平成24) 年度 キャッシュフロー計算書

(単位: 百万円)

科目	当年度決算	前年度決算	差異
<b>事業活動によるキャッシュフロー</b>			
i教育研究活動によるキャッシュフロー			
学生生徒等納付金収入	13,542	13,076	466
手数料収入	614	540	73
寄付金収入	88	95	△ 6
補助金収入	2,166	2,304	△ 138
事業収入	1,657	1,461	196
退職団体交付金収入	328	367	△ 39
その他	1,089	948	141
小計 (A)	19,487	18,793	693
人件費支出 (退職金支出を除く)	8,667	8,576	91
退職金支出	688	763	△ 75
教育研究経費支出	3,542	3,734	△ 191
管理経費支出	1,995	2,110	△ 114
その他	609	152	456
小計 (B)	15,503	15,338	165
(A - B)	3,983	3,455	527
ii施設等整備活動によるキャッシュフロー			
施設設備関係補助金収入	7	11	△ 3
不動産等売却収入	66	3,568	△ 3,501
小計 (C)	74	3,579	△ 3,505
施設関係支出	1,089	2,461	△ 1,372
設備関係支出	458	431	26
その他	63	49	14
小計 (D)	1,611	2,943	△ 1,331
(C - D)	△ 1,537	636	△ 2,173
I 事業活動によるキャッシュフロー (i + ii)	2,446	4,092	△ 1,645
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>			
資産運用収入	249	225	24
借入金等収入	2,000	0	2,000
その他	0	0	0
小計 (E)	2,249	225	2,024
借入金等利息支出	60	73	△ 12
借入金等返済支出	711	715	△ 4
小計 (F)	771	788	△ 16
II 財務活動によるキャッシュフロー (E - F)	1,477	△ 563	2,041
キャッシュフロー計 (I + II)	3,924	3,529	395

◀ キャッシュフロー計算書とは

キャッシュフロー計算書は、会計年度内に遂行した資金の動き(キャッシュフロー)を表した財務諸表です。教育研究、施設整備、財務などに区分してキャッシュフローを計算し、それぞれの収入と支出から健全な学校経営がなされているかを確認します。

企業会計においては、2000年3月期からキャッシュフロー計算書の作成が義務付けられており、国立大学法人会計基準、公益法人会計基準においてもこれになっています。

◀ 事業活動によるキャッシュフロー

「教育研究活動によるキャッシュフロー」は、各学校の教育研究活動と収益部門による営業活動を含めた金額で構成しており、収入超過が通常の状態です。

「施設等整備活動によるキャッシュフロー」は、校舎の建設や機器・備品を購入するための資金の動きを表しており、支出超過が通常の状態になります。

教育研究活動と施設等整備活動によるキャッシュフローの合計が「事業活動によるキャッシュフロー」となります。

◀ 財務活動によるキャッシュフロー

「財務活動によるキャッシュフロー」は、資金を調達、返済するための活動、すなわち資産運用や借入金に関する活動を表しています。2012年度には私学事業団より20億円の借入を行いました。

消費収支計算書 (P/L)

2012年度の経常収支は、経常収入191億3000万円から経常支出171億2200万円を差し引いた20億700万円の収入超過となりました。特別収支は、資産運用および資産処分による収入3億1700万円、借入金利息および資産処分損による支出2億3800万円により7900万円の収入超過となります。

帰属収支は20億8600万円の収入超過となり、基本金組入後の消費収支差額は10億2800万円の収入超過となりました。

貸借対照表 (B/S)

資産の部合計は1025億5600万円となり、前年度より31億6700万円増加しております。固定資産は953億600万円となり25億900万円増加しましたが、有形固定資産は8億2000万円減少しております。減価償却および東京都市大学世田谷キャン

パス旧1号館除却などにより建物は11億2600万円、教育研究機器備品は2億5400万円減少しました。東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設(2期工事)により建設仮勘定は6億4800万円増加しております。

その他の固定資産は322億9400万円となりました。主に退職給与引当特定資産および施設拡充引当特定資産などにより33億2900万円増加しております。流動資産は72億4900万円となり、6億5700万円増加いたしました。

負債の部合計は151億4000万円となり10億8000万円増加いたしました。東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設に伴い、20億円の借入を行いました。基本金は925億8300万円となり、10億5500万円増加しました。主に校舎、機器備品などの取得による第1号基本金の組入れです。

消費収支差額は51億6600万円の累積支出超過となりました。

■ 2012 (平成24) 年度 消費収支計算書 (P/L)

(単位: 百万円)

科目	当年度決算	前年度決算	差異	科目	当年度決算	前年度決算	差異
<b>経常収支の部</b>							
学生生徒等納付金	13,542	13,076	466	人件費 (退職給与引当金繰入額を除く)	8,667	8,576	91
手数料	614	540	73	退職給与引当金繰入額	597	537	59
寄付金	153	169	△ 16	教育研究経費	5,475	5,738	△ 263
補助金	2,173	2,316	△ 142	(減価償却額)	(1,930)	(2,003)	(△ 72)
資産運用収入	476	538	△ 62	管理経費	2,381	2,509	△ 127
事業収入	1,657	1,461	196	(減価償却額)	(384)	(387)	(△ 2)
雑収入 (退職団体交付金を除く)	182	196	△ 14	経常支出 (B)	17,122	17,362	△ 239
退職団体交付金	328	367	△ 39	I 経常収支差額 (A - B)	2,007	1,304	703
経常収入 (A)	19,130	18,666	463	<b>特別収支の部</b>			
<b>特別収支の部</b>							
資産運用収入	249	224	24	借入金等利息	60	73	△ 12
資産売却差額	68	3,537	△ 3,469	資産処分差額他	177	534	△ 356
特別収入 (C)	317	3,761	△ 3,444	特別支出 (D)	238	607	△ 369
				II 特別収支差額 (C - D)	79	3,153	△ 3,074
<b>消費収支差額の部</b>							
基本金組入額 (E)	△ 1,058	△ 2,751	1,693	III 帰属収支差額 (I + II)	2,086	4,458	△ 2,371
				消費収支差額 (III + E)	1,028	1,706	△ 678
				基本金取崩額	2	1,352	△ 1,349

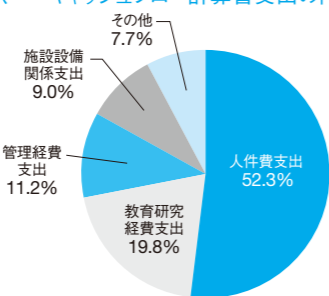
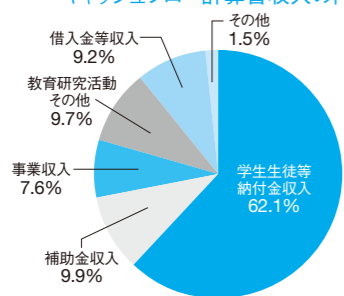
■ 2012 (平成24) 年度 貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	本年度末残高	前年度末残高	増減	科目	本年度末残高	前年度末残高	増減
<b>資産の部</b>							
固定資産	95,306	92,797	2,509	<b>負債・基本金および消費収支差額の部</b>			
有形固定資産	63,012	63,832	△ 820	固定負債	10,751	9,324	1,427
土地	26,017	26,017	0	長期借入金	4,120	2,552	1,568
建物	28,270	29,397	△ 1,126	退職給与引当金	5,242	5,423	△ 180
構築物	2,022	2,103	△ 80	長期預り金	356	339	16
機器備品等	3,394	3,684	△ 290	その他	1,031	1,009	22
図書	2,448	2,418	29	流動負債	4,388	4,735	△ 346
建設仮勘定	858	210	648	短期借入金	431	711	△ 279
その他の固定資産	32,294	28,965	3,329	未払金	433	661	△ 228
借地権	1,457	1,457	0	前受金	2,947	2,711	235
施設利用権等	621	626	△ 5	預り金他	577	651	△ 74
収益事業元入金等	1,270	1,281	△ 10	負債の部合計	15,140	14,059	1,080
各種引当特定資産	28,946	25,600	3,345	基本金	92,583	91,527	1,055
流動資産	7,249	6,592	657	第1号基本金	88,377	87,327	1,050
現金預金	5,772	5,236	535	第2号基本金	1,172	1,172	0
未収入金	502	515	△ 12	第3号基本金	1,812	1,807	5
有価証券	800	800	0	第4号基本金	1,221	1,221	0
その他	174	40	134	消費収支差額の部	△ 5,166	△ 6,198	△ 1,031
資産の部合計	102,556	99,389	3,167	(純資産)	87,416	85,329	2,086
				負債・基本金および消費収支差額の部合計	102,556	99,389	3,167

キャッシュフロー計算書収入の内訳

キャッシュフロー計算書支出の内訳



5年間の財務データ（推移）

■ キャッシュフロー計算書 (C/F)

(単位: 百万円)

科目	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)
<b>事業活動によるキャッシュフロー</b>					
i 教育研究活動によるキャッシュフロー					
学生生徒等納付金収入	11,196	11,741	12,518	13,076	13,542
手数料収入	502	555	539	540	614
寄付金収入	62	36	62	95	88
補助金収入	2,376	2,361	2,476	2,304	2,166
事業収入	2,037	1,426	1,192	1,461	1,657
退職金団体交付金収入	685	546	360	367	328
その他	1,082	3,049	1,657	948	1,089
小計 (A)	17,940	19,717	18,807	18,793	19,487
人件費支出 (退職金支出を除く)	8,676	8,541	8,399	8,576	8,667
退職金支出	1,103	1,032	590	763	688
教育研究経費支出	4,031	3,694	3,666	3,734	3,542
管理経費支出	2,795	2,813	2,240	2,110	1,995
その他	△ 13	18	351	152	609
小計 (B)	16,592	16,100	15,249	15,338	15,503
(A - B)	1,348	3,616	3,557	3,455	3,983
ii 施設等整備活動によるキャッシュフロー					
施設設備関係補助金収入	126	109	55	11	7
不動産等売却収入	0	2,531	2,121	3,568	66
小計 (C)	126	2,640	2,176	3,579	74
施設関係支出	3,651	3,848	4,676	2,461	1,089
設備関係支出	894	1,049	773	431	458
その他	△ 1,043	1,013	△ 71	49	63
小計 (D)	3,502	5,910	5,379	2,943	1,611
(C - D)	△ 3,376	△ 3,270	△ 3,202	636	△ 1,537
I 事業活動によるキャッシュフロー (i + ii)	△ 2,026	346	355	4,092	2,446
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>					
資産運用収入	305	219	202	225	249
借入金等収入	0	0	0	0	2,000
その他	20	17	0	0	0
小計 (E)	326	236	202	225	2,249
借入金等利息支出	113	99	86	73	60
借入金等返済支出	753	732	715	715	711
小計 (F)	866	832	801	788	771
II 財務活動によるキャッシュフロー (E - F)	△ 540	△ 595	△ 599	△ 563	1,477
キャッシュフロー計 (I + II)	△ 2,566	△ 249	△ 244	3,529	3,924

■ 消費収支計算書 (P/L)

(単位: 百万円)

科目	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)
<b>経常収支の部</b>					
学生生徒等納付金	11,196	11,741	12,518	13,076	13,542
手数料	502	555	539	540	614
寄付金	118	100	154	169	153
補助金	2,502	2,470	2,531	2,316	2,173
資産運用収入	601	595	619	538	476
事業収入	2,037	1,426	1,192	1,461	1,657
雑収入 (退職団体交付金を除く)	64	2,866	178	196	182
退職団体交付金	685	546	360	367	328
経常収入 (A)	17,709	20,301	18,095	18,666	19,130
人件費 (退職給与引当金繰入額を除く)	8,676	8,541	8,399	8,576	8,667
退職給与引当金繰入額	1,022	936	676	537	597
教育研究経費	5,748	5,470	5,588	5,738	5,475
(減価償却額)	(1,714)	(1,773)	(1,920)	(2,003)	(1,930)
管理経費	3,038	2,979	2,605	2,509	2,381
(減価償却額)	(242)	(164)	(364)	(387)	(384)
経常支出 (B)	18,484	17,928	17,269	17,362	17,122
I 経常収支差額 (A - B)	△ 775	2,372	825	1,304	2,007
<b>特別収支の部</b>					
資産運用収入	305	219	201	224	249
資産売却差額	0	2,533	2,104	3,537	68
特別収入 (C)	305	2,752	2,306	3,761	317
借入金等利息	113	99	86	73	60
資産処分差額他	195	271	281	534	177
特別支出 (D)	309	371	367	607	238
II 特別収支差額 (C - D)	△ 3	2,381	1,938	3,153	79
III 帰属収支差額 (I + II)	△ 779	4,754	2,763	4,458	2,086
基本金組入額 (E)	△ 1,893	△ 2,877	△ 4,869	△ 2,751	△ 1,058
消費収支差額 (III + E)	△ 2,673	1,877	△ 2,105	1,706	1,028
基本金取崩額	0	0	0	1,352	2

財産目録

2013 (平成25) 年3月31日現在の財産の目録です

財産目録 2013 (平成25) 年3月31日	金額
I 資産総額	金 102,556,584,166
内 1 基本財産	金 63,368,566,892
2 運用財産	金 33,883,171,946
[ 3 収益事業用財産 ]	金 5,304,845,328
II 負債総額	金 15,140,267,205
III 正味財産*	金 87,416,316,961

(注記) 資産の価額は取得価額 (減価償却資産については帳簿価額) 基準による

\*正味財産とは、資産総額から負債総額を差し引いた金額です

1 資産

区分	数量	価額・金額
(1) 土地	317,440.30 m <sup>2</sup>	25,932,228,164
(2) 建物	163,686.96 m <sup>2</sup>	26,163,962,431
(3) 構築物	—	1,127,932,386
(4) 教具・校具および備品	51,264 点	3,250,850,269
(5) 図書	554,058 冊	2,448,024,465
(6) 車輛	15 台	23,005,194
(7) 建設仮勘定	1 口	858,127,100
(8) 借地権	16,426.86 m <sup>2</sup>	318,785,680
(9) 電話加入権	184 台	10,675,915
(10) 施設利用権	19 件	4,753,030
(11) ソフトウェア	87 口	178,949,068
(12) 施設取得計画 (2号) 引当資産	1 口	1,172,000,000
(13) 第3号基本金引当特定資産	3 口	1,812,404,523
(14) 奨学資金引当特定資産	2 口	66,868,667
計	—	63,368,566,892

2. 運用財産

区分	数量	価額・金額
(1) 預金・現金	—	5,574,502,260
(2) 退職給与引当特定資産	5 口	4,885,500,000
(3) 施設拡充引当特定資産	8 口	18,723,000,000
(4) 寄付積立特定資産	2 口	43,989,399
(5) 有価証券	1 口	2,242,400,302
(6) 不動産	107,368.79 m <sup>2</sup>	85,355,857
(7) 収益事業元入金	1 口	1,000,000,000
(8) 長期貸付金	8 口	2,502,000
(9) 短期貸付金	1 口	380,000
(10) 未収入金	82 口	454,126,899
(11) 貯蔵品	—	409,932
(12) 前払金	48 口	22,848,145
(13) 立替金	6 口	11,568,542
(14) 仮払金	4 口	36,310,655
(15) 短期有価証券	1 口	800,277,955
計	—	33,883,171,946

3. 収益事業用財産

区分	数量	価額・金額
(1) 事業用建物	7,705.03 m <sup>2</sup>	2,106,863,316
(2) 事業用構築物	—	895,039,460
(3) 事業用動産 (機器・備品他)	285 点	120,652,011
(4) 借地権	163.86 m <sup>2</sup>	1,138,236,000
(5) 施設利用権	11 件	602,590,254
(6) 修繕積立金	1 口	86,413,917
(7) 長期前払費用	2 件	2,613,800
(8) 設備利用権	24 件	3,090,983
(9) 預金・現金	—	197,619,300
(10) 未収入金	17 口	48,737,316
(11) 貯蔵品	—	2,714,860
(12) 前払金	33 口	11,660,048
(13) 立替金	1 口	88,614,063
計	—	5,304,845,328

2 負債

区分	数量	価額・金額
(1) 長期借入金	11 口	4,120,580,000
(2) 退職給与引当金	575 人	4,897,273,675
(3) 長期未払金	1 口	4,498,200
計	—	9,022,351,875

2. 流動負債

区分	数量	価額・金額
(1) 短期借入金	12 口	431,630,000
(2) 前受金	12 口	2,723,665,932
(3) 未払金	16 口	367,489,710
(4) 預り金	29 口	541,006,809
計	—	4,063,792,451

3. 収益事業用負債

区分	数量	価額・金額
(1) 退職給与引当金	74 人	345,689,900
(2) 長期預り金	2 口	356,199,650
(3) 長期未払金	1 口	27,098,400
(4) 収益事業元入金	1 口	1,000,000,000
(5) 未払金	2 口	65,558,187
(6) 前受金	5 口	223,573,252
(7) 預り金	3 口	8,628,490
(8) 未払費用	1 口	27,375,000
計	—	2,054,122,879

借用財産

区分	数量	備考
(1) 土地	86,861.43 m <sup>2</sup>	東京都市大学 校地ほか (該当なし)
(2) 建物	0.00 m <sup>2</sup>	
計	—	

## 2013年度の事業計画

学校法人五島育英会は、教育環境の整備、教育内容の充実と経営基盤の安定に取り組み、理念に基づく有為な人材を育成すべく、2013年度事業計画を策定しました。

東京都市大学グループが発足して4年が経過し一連の改革の節目を迎え、今後はこれらの評価をもとに、第二段階として新たな視点に立って、グループ全体の持続的な成長を図るべく、経営基盤をより充実させていくための戦略と施策を展開していきます。

### [人事]

2013年度の東京都市大グループの職員配置は、教育職469名（対前年増減なし）、技術職100名（対前年2名増）、事務職232名（対前年2名減）の体制となります。

職員の人材育成のため、研修制度の充実に力を入れています。事務職員においては、現在、都市大グループ全体の取り組みとして「職員力」の向上を目指し、個々の職員の資質向上・能力開発に努めています。2013年度は職制上の体系的な研修プログラムを構築し、計画的な人材育成を推進していきます。

また、高等学校以下の教育職員に対しては、魅力ある学校づくりを推進するため、高いレベルでの教育スキルの維持・向上に努めています。本年度は引き続き質の高い「教育力」の取得に向けた階層別研修を行うことにより、個々の教育スキルのさらなる向上に取り組めます。

### [広報]

東京都市大学グループ全体並びに各学校の認知向上および理解をさらに深めるための広報活動を継続して行います。特に、学部学科の再編や大学院研究科専攻の新設により、改革を進める都市大の認知向上と理解促進を図ります。

#### (1) 広報戦略

- 都市大グループの理念に基づき、ブランド形成を強力に推進するための重点施策を設定し、認知と共感を得るための活動を行います。
- 教育活動、研究活動、産学連携、地域連携等の成果や取り組みを積極的に広報します。

#### (2) 内部広報

グループ理念、ビジョンを共有する意識を醸成する内部広報活動に継続して取り組みます。

### [財務]

収入においては、学生生徒等納付金は昨年度予算より0.8%減となります。支出においては、経常経費の削減を行い消費収支の改善を図りましたが、基本金組入れにより消費支出超過予算です。なお、施設設備については、都市大グループの教育環境の整備充実に着実に取り組んでいきます。

### [内部監査]

2013年度内部監査計画に基づき、会計監査、業務監査を実施するとともに、監事、会計監査人との連携を強化します。

### [収益事業]

#### (1) 不動産賃貸

##### 五島育英会ビル

賃貸ビルとしての競争力強化を計画的に進めます。本年度についても、より快適な環境を整備し、市場からの評価を高め、空室の入居を確保します。

#### (2) 東急自動車学校

スクールバスのエリア拡大、認知の向上等によりさらなる顧客層の拡大に繋げ、業務改善等の経費削減を行い、大幅な収益改善を図ります。

■ 2013（平成25）年度キャッシュフロー予算書			
（単位：百万円）			
	2013年度予算	2012年度予算	差異
<b>事業活動によるキャッシュフロー</b>			
<b>i 教育研究活動によるキャッシュフロー</b>			
学生生徒等納付金収入	13,412	13,514	△102
手数料収入	539	515	24
一般寄付金収入	36	68	△31
補助金収入	2,136	2,376	△240
事業収入	1,728	1,448	279
退職金団体交付金収入	239	191	47
その他	680	712	△31
小計(A)	18,772	18,826	△54
人件費支出(退職金支出を除く)	8,812	8,823	△11
退職金支出	461	447	14
教育研究経費支出	3,693	3,761	△67
管理経費支出	2,003	2,160	△157
その他	120	282	△161
小計(B)	15,091	15,475	△383
(A - B)	3,681	3,351	329
<b>ii 施設等整備活動によるキャッシュフロー</b>			
不動産等売却収入	2,431	24	2,406
小計(C)	2,431	24	2,406
施設関係支出	5,062	1,675	3,386
設備関係支出	650	463	187
その他	6	6	0
小計(D)	5,718	2,145	3,573
(C - D)	△3,287	△2,120	△1,167
<b>I 事業活動によるキャッシュフロー(i + ii)</b>	<b>393</b>	<b>1,230</b>	<b>△837</b>
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>			
資産運用収入	286	213	72
借入金等収入	1,700	0	1,700
その他	404	520	△116
小計(E)	2,390	733	1,656
借入金等利息支出	50	60	△10
借入金等返済支出	432	711	△279
その他	404	520	△116
小計(F)	886	1,291	△405
<b>II 財務活動によるキャッシュフロー(E - F)</b>	<b>1,504</b>	<b>△558</b>	<b>2,062</b>
<b>III キャッシュフローの合計(I + II)</b>	<b>1,897</b>	<b>672</b>	<b>1,224</b>
<b>IV 積立資産によるキャッシュフロー</b>			
施設設備引当資産収入(G)	1,257	4,006	△2,749
施設設備引当資産支出(H)	2,240	4,579	△2,338
(G - H)	△982	△572	△410
<b>繰越支払資金の増減(III + IV)</b>	<b>914</b>	<b>100</b>	<b>814</b>

### [施設等整備計画]

都市大グループでは、教育・研究活動のさらなる向上のため、整備計画が着実に進められています。

#### (1) 東京都市大学 新1号館新築工事

2010年11月に起工した新1号館の一部（第I期工事）が2011年12月に竣工しました。工期は2期にわたり、竣工は2013年12月下旬を予定しています。

工期：(II期) 2012年10月11日～2013年12月26日

建物構造：RC造・一部鉄骨造 地上4階・地下1階  
敷地面積：23,971.15㎡ 建築面積：3,498.90㎡  
延床面積：14,990.28㎡



東京都市大学新1号館外観  
「環境配慮型 総合教室・学生支援センター 複合施設」とし、学生支援エリア、教室エリア、研究室エリア、事務室エリアにゾーニングすることで効率的な施設利用を図ります

#### (2) 東京都市大学塩尻高等学校 新校舎の建設および既存校舎の改修

東京都市大学塩尻高等学校では、普通科コース再編に伴う学校改革の一環として、特色ある設備を備えた新校舎の建設および既存校舎の改修を実施します。

授業・自学自習や、教師と生徒とがコミュニケーションを育む「教室棟エリア」と、グラウンドや体育館など「運動施設エリア」、食堂など「厚生施設エリア」を明確にし、分かりやすい校舎配置に改良し、明るく元気な学園生活を送れる快適な空間を創ります。また、新校舎と既存校舎を渡り廊下で繋ぎ、中央中庭を中心とした回遊型校舎配置にして、多くの教職員と生徒の目で見渡すことが出来る安心・安全な学校とします。

建物の概要：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造  
延床面積 12,188.47㎡

- ・新校舎 <新築> (地上4階) 3,282.90㎡
  - ・新体育館棟 <新築> (地上2階) 3,124.00㎡
  - ・本館、実験実習棟 <改修> (地上3階) 5,781.57㎡
- 工期：着工予定 2013年8月  
竣工予定 2014年8月(新校舎)  
事業完了予定 2015年3月



東京都市大学塩尻高等学校  
学習支援センター自習室(新校舎4階)  
4階全フロアには、自習スペース、個別指導ブース、グループ学習室、図書室等を備え、チューターによる特別指導などをサポートする学習支援センターを開校します



東京都市大学塩尻高等学校  
体育館(2層式4階建)  
天井高12m～15mを有する、膜構造の屋根をかけた明るいアリーナ。外周部分には1周122mのランニングコースと筋力トレーニングスペースを設置します

その他、改修工事等は、以下を予定しています。

- (1) 東京都市大学世田谷キャンパス外構整備
- (2) 東京都市大学横浜キャンパスA V設備更新
- (3) 東京都市大学総合グラウンド多目的グラウンド改修工事

## 各種奨学制度

### [奨学金制度]

五島育英会では、当法人における各種奨学制度と、ご父母保証人、卒業生、企業などの皆様のご理解とご協力による各種寄付を活用し、学生・生徒の学びと成長を支援しています。

奨学金名	2012年度採用実績	奨学金名	2012年度採用実績
五島育英基金	179件	五島育英会曾孫奨学基金	2件
武蔵育英基金	39件	山田奨学基金	16件
蔵田奨学基金	1件	今泉奨学基金	6件
東京都市大学黒澤敦・淑子奨学基金	10件	東京都市大学佐野利秋国際交流奨学基金	4件
東京都市大学桐華奨学基金	4件	峰奨学基金	1件
小島奨学基金	8件	本多奨学基金	—

奨学金の概要は五島育英会ホームページをご覧ください。http://www.goto-ikuei.ac.jp/10hojin/scholarship.html

### [その他の支援制度]

五島育英会では、現在のようないかなる経済状況が不安定ななかにあっても、学生・生徒の皆様が学修の機会を失わず、希望を持って未来に挑戦できるよう応援してまいります。詳しくは、都市大グループ各学校までお問い合わせください。

- ・小学生から大学院生までの家計急変に対する在学学生への緊急支援
- ・地震等災害における学費等減免

### [教育ローンについて]

五島育英会では、金融機関との提携による「学校法人五島育英会教育ローン」制度を設置しております。本制度は銀行や信販会社など指定金融機関から学納金の融資を受けられるもので、経済的理由により就学が困難な学生・生徒・児童に対して、経済的負担を軽減することを目的としています。



学校法人五島育英会では、学業・人物ともに優秀な学生・生徒を支援するために、様々な奨学制度を整えています

### ご支援のお願い

五島育英会では、都市大グループ各学校の教育・研究活動のさらなる充実のために、皆様のご芳志を活用しています。当法人の取り組みをご理解いただき、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、五島育英会は文部科学省より特定公益増進法人および税額控除対象法人の証明を受けており、五島育英会に対する寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。また、一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。詳しくは下記までお問い合わせください。

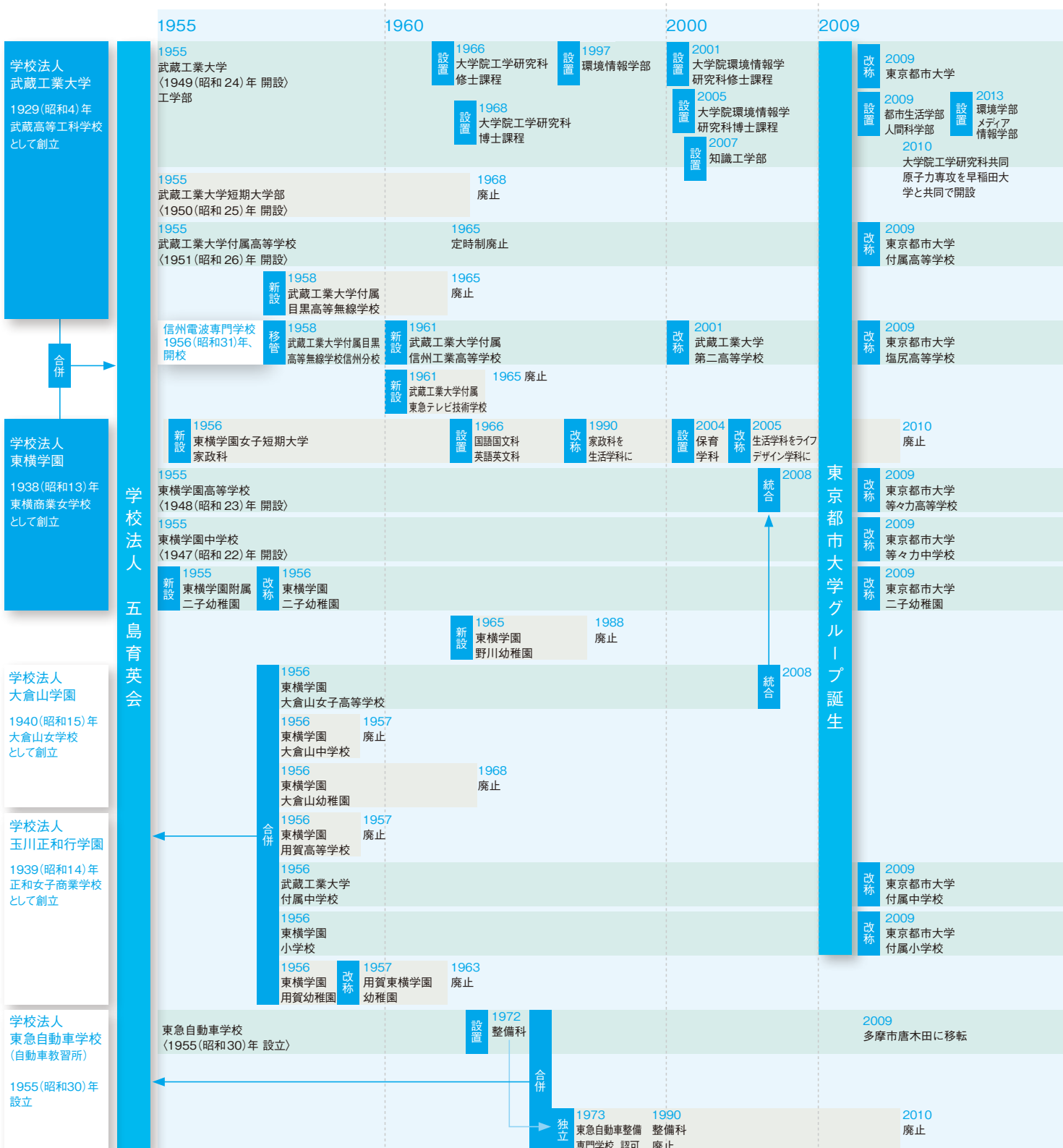
**【お問い合わせ先】** 学校法人五島育英会 法人本部 財務グループ  
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F TEL: 03-3464-6919 (ダイヤルイン) FAX: 03-3464-6650

## 五島育英会のあゆみ

五島育英会は、東急グループの創設者である五島慶太を初代理事長として、1955（昭和30）年6月に設立した学校法人です。当時の設置校は武蔵工業大学、同短期大学部、同付属高等学校、東横学

園高等学校、同中学校の5校でした。その後幾多の変遷を経て、2009（平成21）年4月、設置する大学1校、高等学校3校、中学校2校、小学校1校、幼稚園1園に「東京都市大学」の名称を冠し、「東京

都市大学グループ」を形成しました。在籍学生等は1万2000人を超え、卒業生総数は約16万8000人です。





## 事業活動

### 東急自動車学校（東急ドライビングスクール）

東急自動車学校では、受講生の利便性を向上させるため、2012年度から技能教習時間を延長しました。月曜日から土曜日の平日は20時までだったところを21時まで、日曜・祝日は17時50分までだったところを21時までそれぞれ延長し、それに伴い送迎バスについても遅くまで運行することにしました。これにより勤務終了後も通学しやすくなるため、社会人入校者の増加を期待しています。また、これまで6ルートだった無料送迎バスのルートに、2012年12月1日から鶴川駅からのルートも加わり、計7ルートになりました。

教習プランについては、「普通車」「中型車」「大型車」「普通二輪」「大型二輪」「中型二輪」「大型二種」「けん引車」の8種類に加え、2012年度より「普通二種」の指定を受け、教習をスタートしました。2013年には、人気の高い大型二輪の教習車にホンダNC750Lの新車8台を導入。各車種で様々なキャンペーン企画を実施し、入校者数増加を目指します。

教習技術のさらなる向上のための取り組みも積極的に行っています。2012年2月7日から18日まで、茨城県ひたちなか市の安全運転中央研修所にて「新任運転習熟指導員」という資格取

得のための講習を受講。この資格は、免許取得後1年以内に違反点数が規定に達した運転者に対して行う講習を行うためのもので、初心運転者の安全意識を高めることを目的としています。自動車学校では免許を取得していない人を対象としていますが、この講座は免許取得者に対して行うので、通常の教習とは異なる視点で指導にあたる必要があります。指導員のための講習では、理論・実習での指導に加え、講習生役と指導員役に分かれたロールプレイングやディスカッションを行うなど、実践に即した講習が行われました。

また、2011年11月21日から12月2日まで、同じく安全運転中央研修所にて「新任運転適性指導員研修」にも参加しました。この研修に参加すると、運転免許の取り消し処分等を受けた人が再度運転免許を取得する際に必ず受講しなければならない「取消処分者講習」を行える資格を取得できます。同資格については、2011年度に本校で実施できる指定を得ており、2011年度には6名の職員が取り消し処分講習を行える資格を取得しています。2012年度にはさらに9名が資格取得を果たしました。

2012年6月には、東日本大震災の復興支援として、宮城県石巻市小網倉浜（牡鹿半島）での災害復興支援ボランティア活動に参加しました。この活動は多摩市社会福祉協議会からの依頼によるもので、2011年度に引き続き、2012年度でも本校の有志職員6名が参加しています。現地の漁協組合員と連携して、牡蠣養殖のための作業を行いました。



2009年12月から多摩市唐木田で開業している東急自動車学校



■ホームページ  
<http://www.109n.jp>  
 東急自動車学校  
 所在地：  
 東京都多摩市唐木田3-6  
 TEL:042-372-0109

### 五島育英会ビル

五島育英会ビルは、東急東横線・田園都市線やJR線などが集まる渋谷駅から徒歩約5分という立地性に加えて都市型オフィスビルとしての快適性を備えています。

同ビル内には、東京都市大学と早稲田大学との共同大学院の教育・研究開発の拠点となる「東京都市大学 渋谷サテライトクラス」が設置されています。

#### 【建物概要】

建物名称：五島育英会ビル  
 敷地面積：1,001.79㎡  
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・  
 地下3階地上8階塔屋1階  
 建物面積：899.27㎡  
 建物延面積：8,777.88㎡

賃貸オフィスに関するお問い合わせは、五島育英会 事業管理グループ（TEL：03-3464-6954）までお願いいたします。



### 五島育英会野川ビル

東急田園都市線沿線の閑静な住宅街にたたずむ地上5階建ての一括賃貸物件です。公園が多い地域に立地し、周辺は2系統のバス路線が乗り入れるなど、快適性と利便性を備え、収益事業の一翼を担っています。

所在地：神奈川県川崎市宮前区野川 3024-2

最寄駅：東急田園都市線「鷺沼」駅

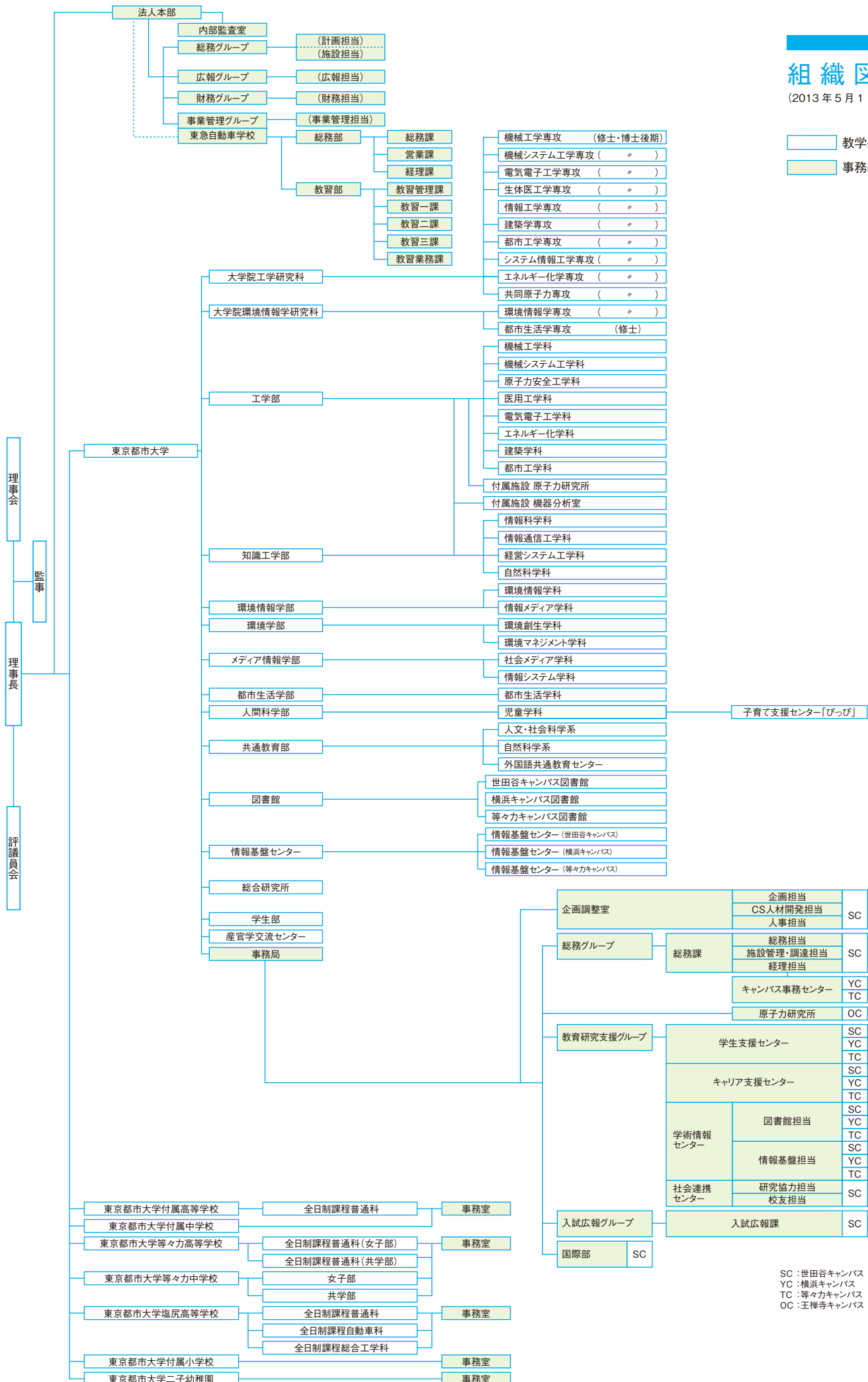
建物構造：鉄筋コンクリート造、地上5階建



# 組織図

(2013年5月1日現在)

□ 教学組織  
□ 事務組織



SC : 世田谷キャンパス  
YC : 横浜キャンパス  
TC : 等々力キャンパス  
OC : 王禅寺キャンパス

# 役員・評議員一覧

(2013年5月1日現在) 理事、監事、評議員の任期: 2012年5月27日～2015年5月26日

## ■ 理事 (15名)

安達 功	理事長
國分 榮	専務理事
広江秀夫	常務理事
中村英夫	東京都市大学グループ総長・学長
山口裕啓	学校法人五島育英会前理事長
越村敏昭	東京急行電鉄株式会社取締役会長
上條清文	学校法人亜細亜学園理事長 東京急行電鉄株式会社取締役相談役
今村俊夫	東京急行電鉄株式会社専務取締役
片田敏行	東京都市大学副学長・ 大学院工学研究科長
神宮進一	東京都市大学事務局長
橋本昌彦	法人本部総務グループ担当理事
菅澤正嗣	法人本部財務グループ担当理事
植木正威	東急不動産株式会社取締役会長
松下正勝	東京都市大学校友会会長
小林菊恵	東京都市大学校友会副会長

## ■ 監事 (3名)

岩田哲夫	東京急行電鉄株式会社常勤監査役
吉田 創	東京急行電鉄株式会社常勤監査役
関 博	武蔵工業会元理事長

## ■ 評議員 (31名)

中村英夫	東京都市大学グループ総長・学長
小野正人	東京都市大学付属中学校・ 高等学校校長
原田 豊	東京都市大学等々力中学校・ 高等学校校長
赤羽利文	東京都市大学塩尻高等学校校長
重永睦夫	東京都市大学付属小学校校長
湯本雅恵	東京都市大学二子幼稚園園長
山本尚生	東京都市大学工学部長
吉崎真司	東京都市大学知識工学部長
近藤雅雄	東京都市大学環境学部部長・ 環境情報学部部長
神宮進一	東京都市大学人間科学部長
橋本昌彦	東京都市大学事務局長
白石 明	法人本部総務グループ担当理事
小山欽也	東急自動車学校校長
鈴木照海	法人本部財務グループ財務担当 部長
片岡昭博	東京都市大学事務局総務グループ 部長 兼 国際部長
	東京都市大学事務局教育研究支援 グループ部長

松下正勝	東京都市大学校友会会長
吉田 勝	東京都市大学校友会副会長
松村慶一	東京都市大学校友会常任幹事
小林菊恵	東京都市大学校友会副会長
川辺加代子	東京都市大学校友会常任幹事
安達 功	理事長
山口裕啓	学校法人五島育英会前理事長
越村敏昭	東京急行電鉄株式会社取締役会長
上條清文	学校法人亜細亜学園理事長 東京急行電鉄株式会社取締役相談役
今村俊夫	東京急行電鉄株式会社専務取締役
植木正威	東急不動産株式会社取締役会長
片田敏行	東京都市大学副学長・ 東京都市大学大学院工学研究科長
國分 榮	専務理事
広江秀夫	常務理事
曾禰韶夫	
泉水 堯	学校法人亜細亜学園専務理事

## 東急グループについて



東急グループは本拠地である渋谷の再開発を進めています。2012年4月には渋谷駅周辺のリーディングプロジェクトである高層複合施設「渋谷ヒカリエ」が開業しました

東急グループは、1922年の「目黒蒲田電鉄株式会社」設立に始まり、2013年3月末現在、東京急行電鉄を中核企業とした226社9法人で構成する企業グループです。交通事業を基盤とした「街づくり」を事業の根幹に置き、不動産、生活サービス、ホテル・リゾート、ビジネスサポートなど、長年にわたって、皆さまの日々の生活に密着した様々な分野で事業を進めています。

「美しい時代へ」をスローガンに、人々

の多様な価値観に対応した「美しい生活環境の創造」をグループ理念として掲げ、各社の「自立」を前提に、互いに連携しあい、相乗効果を生み出す「共創」を推し進め、信頼され愛される東急ブランドの確立を目指しています。

また、学校法人・財団の活動、全国で展開している東急会の活動などを通して、地域社会に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

## 東京都市大学と東急グループの連携

学校法人五島育英会は、教育事業を通じて、東急グループの社会貢献事業の一翼を担うとともに、豊かな人間性と広い視野を持つ未来志向の人材を育成し、変化する社会の要請に応じております。

都市大グループの中核である東京都市大学では、東急グループとの様々な連携プロジェクトを推進しており、世田谷キャンパス図書館では、2012年10月20日から11月25日まで第5回企画展「多摩田園都市展～ハワードの遺産～」を開催。英国の社会学者エベネザー・ハワード氏による田園都市論の提唱から、五島慶太先生による開発構想について、計画当初の趣意書や計画画面など東京急行電鉄所蔵の貴重資料の展示が行われました。

東京都市大学のキャリア支援プログラムの一つとして行っている東急グループ企業へのインターンシップは昨年よりさらに拡大して実施。インターンシップ全体の学生参加者数約300人のうち、東急グループ各社では17社54名(2011年は8社19名)が参加しました。

同年11月14日にはインターンシップ発表会が開催され7組が発表。学生たちからは「ニーズに応える姿勢に学ぶところが多かった」、「“安全”を維持することは、考えている以上に難しい」といった発言が聞かれました。

また、グループの媒体を活用したコミュニケーション活動も広がっています。東急グループの環境活動を伝える広告シリーズ「WE DO ECO」では、東京都市大学が開発した水素ハイブリッドトラックの取り組みが取り上げられ、東急沿線スタイルマガジン「SALUS」の広告シリーズでは、東京都市大学の社会貢献活動について紹介されました。



2012年11月14日、横浜キャンパスにて開催されたインターンシップ成果発表会の様子



東急グループの環境に関する広告シリーズ「WE DO ECO」で、水素ハイブリッドトラックの取り組みが取り上げられました



東京都市大学グループの誕生に伴い、共通したシンボルマークとロゴタイプを定めました。  
 シンボルマーク…略称「都市大」の「都市」の「T」を圖案化したものです。  
 サステナブルな明るい未来を見通す「窓」でもあり、  
 そうした社会を実現するための「知恵のフキダシ」の象形でもあります。  
 マークの色調（アイデンティティカラー「TCUブルー」）は、  
 知性とサステナブルな明るい未来を意味しています。  
 ロゴタイプ…シンプルでカーブの効いたゴシックのタイプフェイスは、  
 時代に柔軟で、若々しさのある学校であることを表現しています。

## 夢に翼を

作詞・作曲 岩代浩一  
 編曲 岩代太郎

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>1.<br/> <small>まなびや</small><br/>                 学園の道の 陽を浴びて<br/>                 精気さやかな 都市に起つ<br/>                 未来を目ざす 心意気<br/>                 不滅の精神<small>こころ</small>を学ぶなり<br/>                 香る個性<small>きざめ</small>の煌きに<br/>                 明日<small>あす</small>の英知を磨き合う<br/>                 両手<small>もろて</small>に燃える青春の<br/>                 夢に翼を 夢に翼を</p> | <p>2.<br/> <small>まなびや</small><br/>                 学園の大地に 風わたり<br/>                 天空蒼々と 冴えるとき<br/>                 阿吽<small>あうん</small>の息吹 朋友<small>とも</small>の声<br/>                 讃歌たからかに ひびくなり<br/>                 若き生命<small>いのち</small>の羽ばたきに<br/>                 明日<small>あす</small>の希望を語り合う<br/>                 力あふれる青春の<br/>                 夢に翼を 夢に翼を</p> | <p>3.<br/> <small>まなびや</small> <small>つど</small><br/>                 学園の森に 集い来て<br/>                 梢<small>こずえ</small>するどく 指す木立<br/>                 遥かに仰ぐ <small>おおぞら</small> 大宙の<br/>                 北斗に真理の光あり<br/>                 古き伝統<small>つたえ</small>の温もりを<br/>                 明日<small>あす</small>に生かして励み合う<br/>                 血潮みなぎる青春の<br/>                 夢に翼を 夢に翼を</p> |
|--|--|---|

作詞・作曲 岩代浩一先生からのメッセージ

たとえ老人になっても、夢に生きている人は新鮮に輝いています。本当の「老(おい)」は夢が失くなってしまった時と言えましょう。憶えば子供の頃は、些細なことでも新鮮な出来事に会おうと、ドキッと反応して感動したものでした。だから、「子供ごころ」は何時でも夢でイッパイでした。少年期から青春時代にかけての夢になると、将来への希望が多くなってきます。「夢多き時代」には若い命が

遅く息吹き、夢を見るほどに血潮が滾ってきます。しかし夢は必ずしも実現するとは限りません。いや、むしろ叶わぬ夢の方がずっと多いでしょう。夢を実現する為には、ただ憧れているだけでなく、強い翼を育てることが肝要です。夢の翼は、個性であり、創造への英知であり、ロマンへの情熱であり、未来へ飛翔する不滅の力(真の勇氣)です。本当の夢は目を覚ましてみるもの。夢に翼を！

## 交通のご案内

### 東京都市大学

- SC** : 世田谷キャンパス  
東急大井町線 尾山台駅より徒歩12分
- YC** : 横浜キャンパス  
横浜市営地下鉄【ブルーライン】中川駅より徒歩5分
- TC** : 等々力キャンパス  
東急大井町線 等々力駅より徒歩10分
- J** : 東京都市大学 付属中学校・高等学校  
小田急線 成城学園前駅より徒歩10分
- T** : 東京都市大学 等々力中学校・高等学校  
東急大井町線 等々力駅より徒歩10分
- S** : 東京都市大学 塩尻高等学校  
中央本線 塩尻駅より徒歩15分
- E** : 東京都市大学 付属小学校  
小田急線 成城学園前駅より徒歩10分
- F** : 東京都市大学 二子幼稚園  
東急大井町線・田園都市線 二子玉川駅より徒歩5分
- TD** : 東急自動車学校  
小田急線 唐木田駅より徒歩15分

